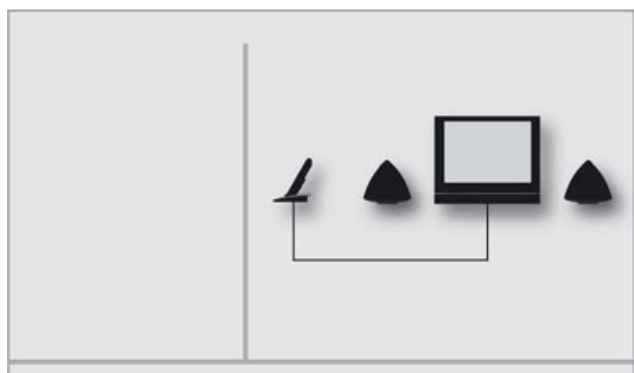


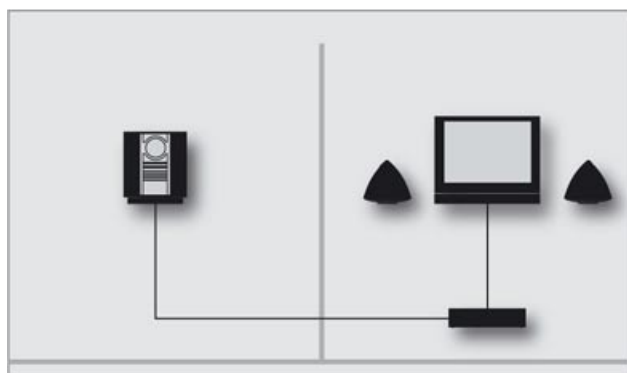
## 日本語 (Japanese) – 目次

はじめに
操作の基本
リモコン
音楽ファイルの取扱い
カバーアート
写真の表示
ウェブサイトの表示
BeoPlayer の日常的な使い方
コンテンツを整理する
BeoMaster 5 と BeoSound 5 を使う
カラーリスト
BeoMaster 5 に特有の機能
ポータブル機器で BeoPlayer を使う
BeoSound 2 での使い方
BeoPlayer の基本的な設定
基本的な設定
やや専門的な設定 – BeoPort が、システムに組み込まれている場合にのみ適用される
BeoPlayer および BeoPort のシステム条件
対応しているメディアフォーマット
ソフトウェアアップデート – BeoMaster 5
BeoPlayer または BeoPort の登録
もし、BeoPlayer/BeoPort を削除する必要がある生じたら
About

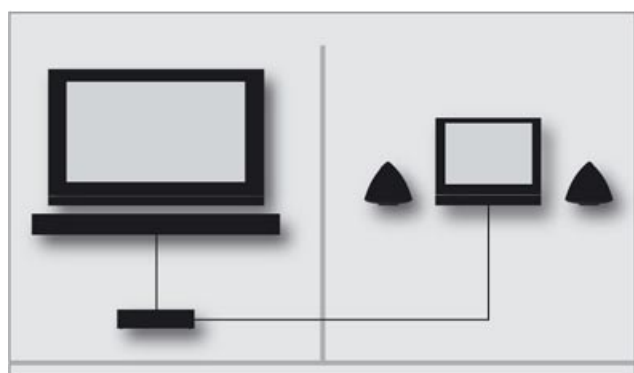
## はじめに



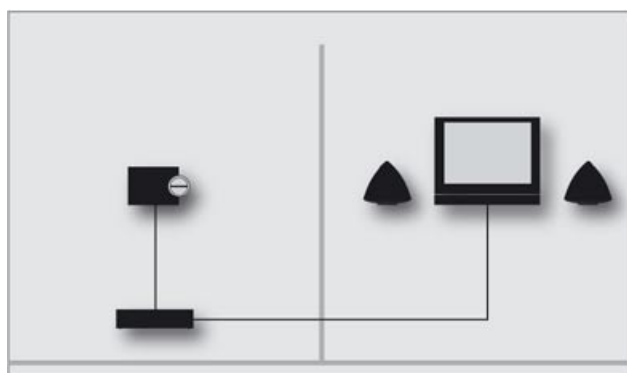
BeoPlayer



BeoPort



BeoMaster 5



BeoSound 5

### BeoPlayer および BeoPort ガイド

このガイドでは、ご使用の Bang & Olufsen 製品に含まれている BeoPlayer、および BeoPort ソフトウェアの使用法を説明します。BeoPlayer は、[www.bang-olufsen.com](http://www.bang-olufsen.com) から無料でダウンロードできます。

BeoPort の使用法は、BeoPlayer とよく似ているため、BeoPort のインストールが必要となる操作を説明する場合に限り、BeoPort という名称を明記していきます。

BeoMaster 5 と BeoSound 5 の各機能に関しても、これら 2 つのソフトウェアの使用法は似かよっています。ですから、BeoMaster 5 での操作を説明する各章では、特に BeoSound 5 のセットアップが必要となる場合に限り、BeoSound 5 という名称を明記していきます。

またこのガイドには、BeoSound 2 と BeoSound 6、および Serenata でこのソフトウェアを使う場合の情報も、記されています。

## 操作の基本 コントロールバー

BeoPlayerまたはBeoPortの各ソースは、コントロールバーからオンにして操作します。

- > システムトレイ内の Bang & Olufsen アイコンをクリックし、BeoPlayerを起動する。
- > カーソルを画面の右端に移動させる。
- > 三角形のタブをクリックし、コントロールバーを呼び出す。



コントロールバーの外観は、BeoPortとBeoPlayerのどちらをインストールしているかによって、少し違いがあります。

デフォルトのソースは、N.RADIO、N.MUSIC、PHOTOおよびPC CDです。使用している製品に応じ、ソースを追加できるのはBeoPortだけなので、注意してください。[詳しくは「コントロールバーのカスタマイズ」をご覧ください。](#)

BeoPlayerのソースをオンにするには…

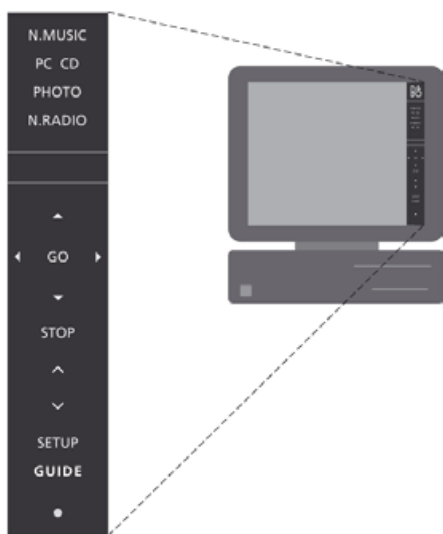
- > オンにするソースを2回クリックし、そのソースをコンピュータ画面の左側に表示させる。

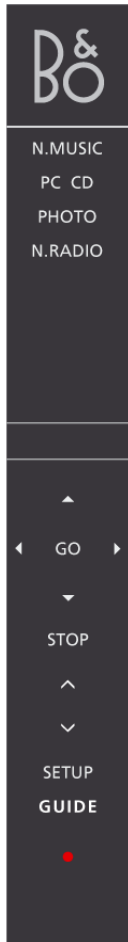
オンになると、そのソース名がコントロールバー上で赤く表示されます。

コントロールバーでの操作は…

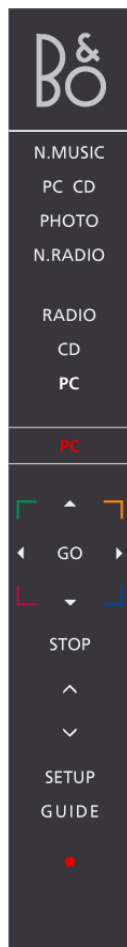
- > ▲または▼をクリックすると、曲、ラジオ局、テレビチャンネル、写真などが1つずつ送られる。
- > ◀または▶をクリックすると、オンになっているソース内のグループ間を移動できる。PC CDの選択中であれば…
- > …CD-romドライブを2台、またはBeoSound 9000を接続している場合(BeoPortのみ)に、CD間を移動できる。
- > STOP をクリックすると、再生が一時停止する。
- > GOをクリックすると、停止したところから再開する。
- > ▲または▼をクリックし、サウンドを調節する。
- > 再生音をミュートするには、▲と▼のあいだをクリックする。再び音を出すには、▲または▼を使う。
- > SETUP をクリックすると、各ソースのオプションが見られる。

また、コンピュータ画面左側に表示されるコンテンツの選択と再生は、マウスを使っても実行できます。BeoPlayer内のグループとは、アルバム、プレイリスト、ジャンル、カラーリスト等を意味します。





BeoPlayerのコントロールバー



BeoPortのコントロールバー

- > INFO をクリックすると、現在再生中の曲、ラジオ局、写真に関する情報が見られる。
- > **•** をクリックすると、スタンバイ状態になる。
- > **•** を2秒以上クリックし続けると、すべてのソースがオフになる。
- > **•** を2回クリックすると、コントロールバーとアプリケーションが閉じる。
- > BeoPlayerを再起動するには、システムトレイ内の Bang & Olufsen アイコンをクリックする。

BeoPort だけに表示されるカラーボタンは、カラーリストを演奏するためのものです。[詳しくは「カラーリスト」をご覧ください。](#)

コントロールバーをカスタマイズするには…

コントロールバーからオンにできるソースの数は、変更が可能です。追加と削除に加え、隠すことができます。最大で8つのソースを、コントロールバーに同時に表示することができます。

- > **SETUP** をクリックして、コントロールバーの設定を始める。
- > **SOURCES** をクリックして、ソースの追加または削除を行なう。使用可能なソースのリストが、コントロールバーに表示される。BeoPort の場合、使用している製品に応じて、さらに多くの選択肢が表示される。
- > リスト中の追加したいソースをクリックし、現在のソース群までドラッグする。

表示されている全ソースの下に、< と > で挟まれている二次的なソースを隠すことができます。

- > コントロールバー上のいずれかのソースを隠したい場合は、そのソースをクリックし、使用可能なメディアのリストまでドラッグする。
- > **EXIT** をクリックし、**SETUP** を終了する。

注意! アメリカ向けの BeoPort では、メインルームからの映像をコンピュータ画面で見ることができません。

## TVビューワー

コンピュータのセットアップに BeoPort ボックスが含まれており、同じコンピュータが TV チューナーカードを搭載してるのであれば、TVビューワー機能が使用可能となり、PC TV を選ぶだけでテレビが見られるようになります。表示された TV ビューワーのウィンドウは、移動や拡大に加え、閉じることが可能です。

### TVビューワーウィンドウの移動と拡大を行なうには…

- > TVビューワーウィンドウを選択し、好きな場所までドラッグする。
- > TVビューワーウィンドウをダブルクリックすると、コンピュータ画面いっぱいにテレビの映像が表示される。
- > TVビューワーウィンドウを画面上から消すには、マウスを右クリックする。サウンドは聴こえ続ける。
- > TVビューワーウィンドウを再表示させるには、コントロールバーを呼び出して TV をクリックする。
- > TVビューワーウィンドウの一边をドラッグすると、4:3 の画像フォーマットに適合するまで TV ビューワーを拡大できる。

### サウンドモードを選ぶには…

テレビチャンネル用に特定のサウンドモードを選んだり、各ソース用の AV ステレオサウンドを選ぶことができます。

### モノラルとステレオ、言語を選ぶには…

各種のサウンドモードが使用できるのであれば…

- > コントロールバー上で、SETUP に続けて SOUND をクリックすると、現在のサウンドモードが変更される。
- > SOUND をクリックしていくと、使用可能なサウンドモード、モノまたはステレオが切り替わる。
- > SETUP をクリックすると、サウンドモードが選択できるようになる。

選択できるサウンドモードが他にない場合、画面は変化しません。

- > EXIT をクリックし、SETUP を終了する。

#### AVステレオサウンドを選ぶには…

コントロールバーで何か映像源を選択すると、その映像源用に、BeoLink 経由のステレオサウンドを選ぶことができます。選択には、コントロールバーのSETUPの下にあるAVボタンを使います。

- > 映像源をクリックして呼び出す – たとえばDTV。
- > SETUPをクリックし、AVサウンドを選べるようにする。
- > AVをクリックし、たとえばステレオ再生をAVサウンドとして選択する。
- > もう1度AVをクリックすると、モノラルに戻る。
- > EXITをクリックし、SETUPを終了する。

## リモコン

BeoPortが赤外線受光部と一緒にインストールされている場合は、システム内のソースを操作するのに、Beo4またはBeo5が使用できます。



Beo4を使う場合…

- > RADIOを押すと、ラジオがオンになる。
- > TVを押すと、接続されたテレビが見られる。
- > LISTを繰り返し押ししてBeo4にN.MUSICを表示させ、GOを押してオンにする。
- > LISTを繰り返し押ししてBeo4にN.RADIOを表示させ、GOを押してオンにする。
- > DTVを押すと、接続した映像源からのデジタルテレビが(もしあれば)受信できる。
- > DVDを押すと、接続したDVDからのDVD信号が受信できる。
- > CDを押すと、オーディオCDが聴ける。
- > V.MEMを押すと、接続したDVD/映像プレーヤーからの映像をコンピュータ画面で見られる。
- > A.MEMを押すと、接続したいいずれかの音源機器が再生される。

番号ボタンは、状況に応じて異なった機能を持ちます。たとえば、特定の曲やテレビチャンネル、ラジオ局を選びます。

- > ◀または▶を押すと、曲が送られていたり、前または後ろのグループに飛ぶ。
- > ▲または▼を押すと、現在のリスト内、またはCD上で前後の曲に飛んだり、他のテレビチャンネルやラジオ局に飛べる。

カラーボタンは…

カラーボタンは、選択したソースに応じて異なった機能を持ちます。端末機器のチャンネルをコンピュータで見ている時であれば、その端末機器の詳細メニューの色分けに従ってカラーボタンが使用できます。

BeoSound 5を含むセットアップ、またはBeoMaster 5のみのセットアップで、カラーボタンはカラーリストを選択します。[詳しくは「カラーリスト」をご覧ください。](#)

リモコンを使うと、リンクルームとメインルームにある音源/映像源のオン/オフができますし、テレビチャンネル、ラジオ局、曲の切り替え、音量の調整等が行なえます。



Beo5 ディスプレイに表示されるボタンは、Bang & Olufsen 販売店がお客様用に行なった設定によって異なります。

Beo5 リモコンは、お使いのシステムの製品構成に合わせ、設定される必要があります。詳しくは、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

#### Beo5 を使う場合…

- > ◀ に続けて Zones を押したあと、今いる部屋の名称を押し、操作したいメディアを選ぶ。
- > N.MUSIC を押すと、インターネットミュージックがオンになる。
- > N.RADIO を押すと、インターネットラジオがオンになる。
- > PC を押すと、パソコンのソースが使える。
- > V.MEM を押すと、接続した DVD / 映像プレーヤーからの映像をコンピュータ画面で見られる。
- > TV を押すと、接続されたテレビが見られる。
- > DTV を押すと、接続した映像源からのデジタルテレビが(もしあれば)受信できる。
- > DVD を押すと、接続した DVD からの DVD 信号が受信できる。
- > CD を押すと、オーディオ CD が聴ける。
- > A.MEM を押すと、接続したいいずれかの音源機器が再生される。
- > ◀ または ▶ を押すと、1つの曲の中をサーチしたり、前または次のフォルダに飛べる。
- > ▲ または ▼ を押すと、現在のリスト内、または CD 上で前後の曲に飛んだり、他のテレビチャンネルやラジオ局に飛べる。

#### カラーボタンは…

カラーボタンは、選択したソースに応じて異なった機能を持ちます。端末機器のチャンネルをコンピュータで見ている時であれば、その端末機器の詳細メニューの色分けに従って、カラーボタンが使用できます。

BeoSound 5 を含むセットアップ、または BeoMaster 5 のみのセットアップで、カラーボタンはカラーリストを選択します。[詳しくは「カラーリスト」をご覧ください。](#)



## 音楽ファイルの取扱い



BeoPlayer/BeoPortは、CD情報をBeoPortalからダウンロードするために、インターネット接続を必要とします。BeoPortalから情報を受け取るには、BeoPlayerを登録したのち、'Configuration'メニューの該当する機能をオンにして、コンピュータをオンラインにしなければいけません。約10秒が経過してもBeoPortalからの返答がない場合、その曲の情報は'unknown'と表示されます。

### コンピュータ内の音楽ファイルを見つける

BeoPlayerでプレイリストを作るためには、コンピュータ内に音楽ファイルが必要とされます。コンピュータ内にすでに保存済みの音楽ファイルを探すか、オーディオCDからコピーしてください。BeoPlayerから、初めてN.MUSICを選択した時は、コンピュータ内の再生可能なコンテンツを探すよう促されます。

#### コンピュータ内の音楽ファイルをスキャンするには…

BeoPlayerを初めて使用する時、または新しい保存用の機器を追加した時は、必ずスキャンを実行してください。

- > スキャンするドライブの隣にあるボックスをクリックし、チェックを入れる。
- > もう1度クリックし、チェックを外す。
- > STARTをクリックすると、スキャンが開始される。

#### 他のドライブに追加されている曲を探すには…

- > N.MUSICがオンになっている時に、コントロールバーのSETUPをクリックする。
- > SCANをクリックする。
- > 該当するドライブの隣にあるボックスにチェックを入れる。

作業の進行状況は、ドライブ選択ボックスの下に赤で表示されます。

- > STOPをクリックすると、進行中のスキャンがキャンセルされる。
- > HIDE SCANをクリックすると、スキャンのオプションが隠される。

スキャンは、完了するまで自動的に進行します。オーディオCDからのコピーを行なう際は、コピー用の設定がすでに完了していることを、確認してください。この設定は、コントロールバー上のSETUPの下にある'Configuration'メニューで行ないます。[詳しくは「BeoPlayerを設定する」をご覧ください。](#)

保存されている曲に'Artists'、'Albums'、'Genre'等の情報が付帯している場合、これらの情報もスキャン中に保存されていきます。[詳しくは「N.MUSICとN.RADIO、PHOTOの情報を確認して編集する」をご覧ください。](#)

デフォルトのN.MUSICを選択すると、'Documents and Settings\user name'の下にある'My Music'というフォルダ、および初めてN.MUSICをオンにしたときスキャンした全ドライブが、スキャンされていきます。従って、もし音楽ファイルを別のドライブ、または別のフォルダに保存した場合は、ハードディスクを改めてスキャンしなければいけません。



コピー先のビューが開いていても、コピーの進行状況はCOPYボタンの下で確認できます。赤いラインが、進行状況を示します。さらに、コントロールバーのディスプレイでも確認できます。

### オーディオ CD から音楽をコピーする

コピーする CD の付帯情報が入手可能な場合、BeoPlayer は、その情報を BeoPortal から受け取るため、インターネット接続を利用します。

#### CD からのコピーを始める前に…

- > CD を CD-rom ドライブに入れ、PC CD をクリックする。
- > 左下にある COPY ボタンをクリックし、'Folder view' を開く。
- > コピーするアルバム全体をドラッグ & ドロップし、新フォルダとする。あるいは…
- > …NEW FOLDER をクリックして新しいフォルダを作り、その中に各曲をドラッグ & ドロップする。

コピーを指示した音楽が再生され、BeoPlayer はコピー作業を開始します。コピーが終了したアルバムや曲は、WMA ファイルとして保存されます。

コピー中でも、コントロールバーは使用できます。ただし、BeoPlayer を完全に終了すると、コピー作業も中止されます。

#### コンピュータ内のフォルダから、N.MUSIC を転送すると…

Windows のフォルダにあるコンテンツは、BeoPlayer 内のお好きな場所へドラッグ & ドロップすることができます。ドロップしたあと、そのコンテンツは自由に整理できますし、曲やアルバムをカラーリストに移動させることも可能です。

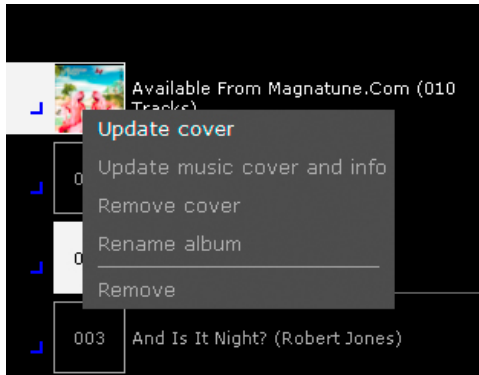
[詳しくは「プレイリストの作成と編集」をご覧ください。](#)

#### BeoPlayer から他のアプリケーションへは…

BeoPlayer 内のコンテンツを、CD 書き込み用ソフトウェアなどの Bang & Olufsen 製ではないソフトに移動させることもできます。BeoPlayer のコンテンツを、そのアプリケーションに 'ドラッグ & ドロップ' してください。アプリケーション側がこの機能に対応していれば、問題なく実行できます。

## カバーアート

BeoPlayerは、N.MUSICの曲に埋め込まれているカバーアート、またはその曲やアルバムと同じフォルダーに収められたカバーアートに、対応しています。



BeoPortalから情報を受け取るには、BeoPlayerを登録したのち、'Configuration'メニューの該当する機能をオンにして、コンピュータをオンラインにしなければいけません。

### アルバムカバーのダウンロードやアップデートは…

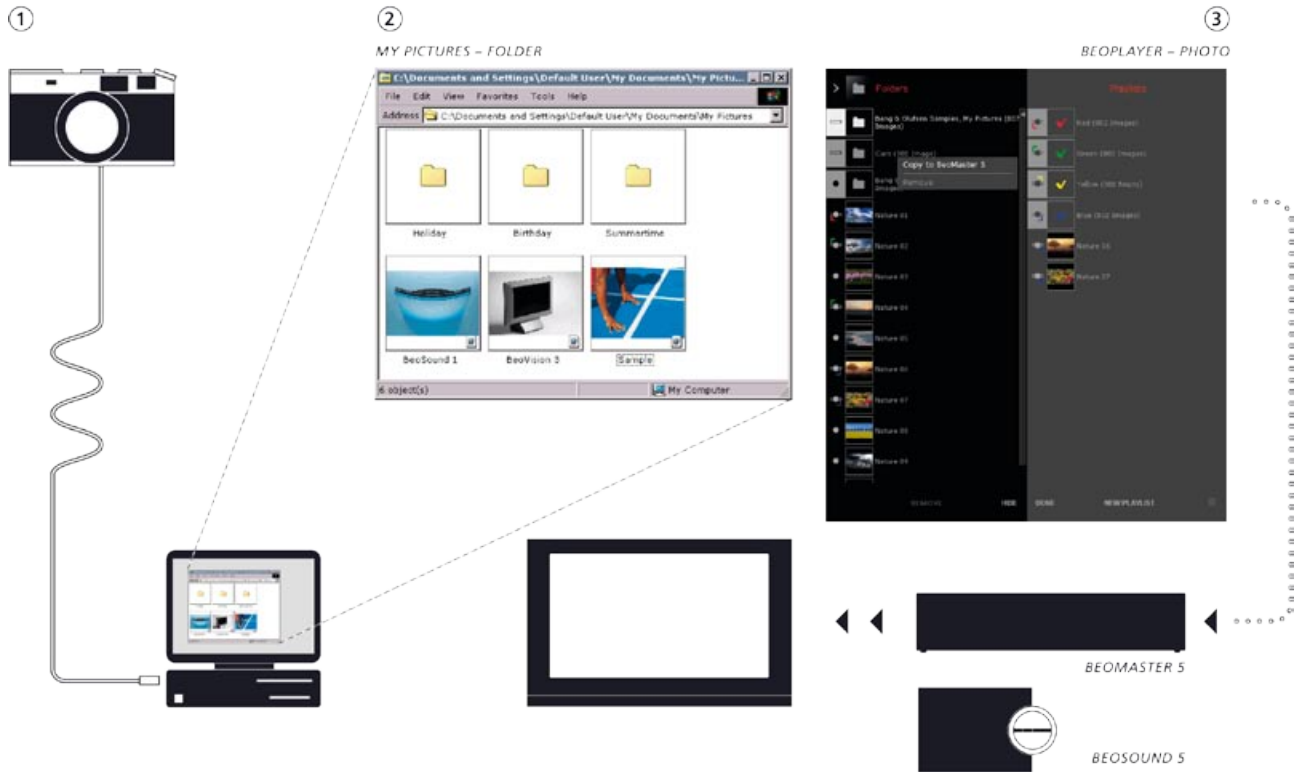
BeoPlayerのどのビューでも、カバーアートは画面の左側に表示されています。BeoPlayerの登録がすむと、BeoPortalへのアクセスが開かれ、コンピュータ内で音楽ファイルのスキャンが完了したのち、演奏中のアルバムカバーのダウンロードやアップデートが可能になります。

- > BeoPlayerの現在のビューの、左上端をクリックして押し続ける。
- > カーソルを'Albums'に移動し、マウスボタンを離す。
- > 使用可能なオプションを見るには、いずれかのアルバムを右クリックする。

また、BeoPlayer内の曲やトラックの上に、写真を直接ドラッグ&ドロップすることもできます。

CDをセットしてPC CDをクリックすると、選んだファイルに付帯するカバーアートを、BeoPlayerは自動的に表示します。

## 写真の表示

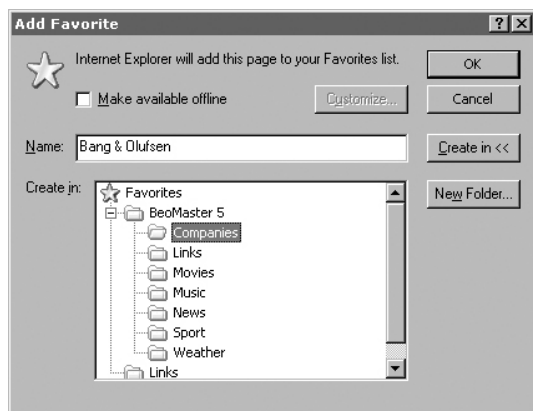


BeoPlayerのPHOTOを使うには、まず、BeoPlayerに写真とビデオクリップを入れなければなりません。Windowsのフォルダにある写真/ビデオを、PHOTOビューの中にドラッグしてください。

1. 写真とビデオクリップは、'My Pictures'フォルダ内のサブフォルダに収納してください。'My Pictures'は、'Documents and Settings'というWindowsフォルダの下にあります。正確な場所は、お使いのコンピュータの設定によって異なります。
2. BeoPlayerのPHOTOを起動すると、'My Pictures'フォルダが自動的にスキャンされ、サブフォルダ内の写真/ビデオが表示可能となります。
3. お使いのテレビを経由してBeoMaster 5を起動すると同時に、写真とビデオクリップを表示可能としたい場合は、該当するファイルをBeoMaster 5に転送する必要があります。[詳しくは「コンテンツを整理する」をご覧ください。](#)

## ウェブサイトの表示

ウェブ機能は、お使いのシステムに BeoMaster 5 が組み込まれている場合のみ、使用できます。



テレビに表示させたいウェブサイトを追加します。  
テレビ上でのウェブの使い方については、BeoMaster 5 ガイド  
をご覧ください。

‘BeoMaster 5’ と題されたフォルダが、Internet Explorer の中の  
‘お気に入り’の下に置かれています。このフォルダに保存したウェブ  
サイトは、ソース名 ‘WEB’ を経由してお使いのテレビ画面で見  
られます。

‘BeoMaster 5’ フォルダの中にサブフォルダを作っていくと、各サ  
ブフォルダがグループとしてテレビ画面に表示されます。

### Internet Explorer に表示させたまま…

- > ‘お気に入り’をクリックする。
- > ‘お気に入りに追加’をクリックする。
- > ‘BeoMaster 5’ フォルダを選ぶ。あるいは…
- > …‘新規フォルダ’をクリックし、新しいサブフォルダを作る。

これで、そのウェブサイトをテレビ画面でも見られます。

## BeoPlayerの日常的な使い方

### 曲やラジオ局の演奏と、写真の表示

コンピュータでオーディオCDを聴くには、そのCDをCD-romドライブにセットし、PC CDをクリックします。選曲や再生の一時停止、CD-romドライブが複数ある場合のCD間の切り替え等は、コントロールバーを使って実行します。

オーディオCDからBeoPlayerへの音楽のコピーについては、[「オーディオCDから音楽をコピーする」](#)をご覧ください。

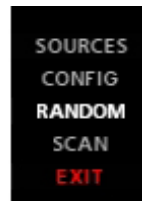
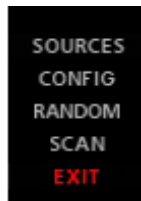
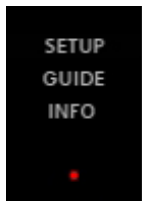
オーディオCDを演奏するには…

- > PC CDをクリックする。最初の曲の演奏が始まる。

BeoPortalから情報を受け取るには、BeoPlayerを登録したのち、'Configuration'メニューの該当する機能をオンにして、コンピュータをオンラインにしなければいけません。

PC CDをクリックすると、演奏中の曲の付帯情報を収集するため、BeoPlayerはBeoPortalに接続します。CD全体の情報を見たあとで、リストから直接操作したい場合は、PC CDをもう1度クリックしてPC CDリストを呼び出します。そうでなければ、以下に示すコントロールバーの各キーを使ってください。

- > ▲をクリックすると、次の曲に飛ぶ。
- > ▼をクリックすると、前の曲に飛ぶ。
- > ◀または▶で、オンになっている音源の次のグループに飛ぶ。
- > STOPをクリックすると、再生が一時停止する。
- > GOをクリックすると、停止したところから再開する。

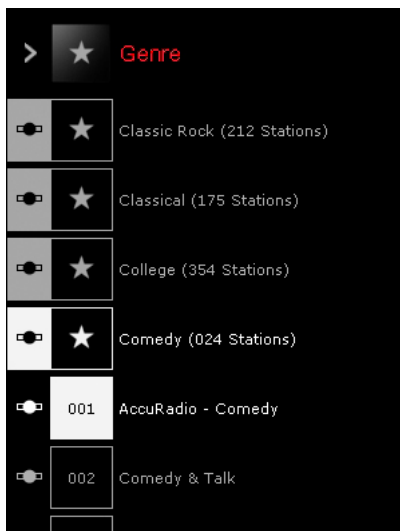


順不同のランダム演奏をするには…

- > コントロールバーのSETUPをクリックし、RANDOMを呼び出す。
- > RANDOMをクリックすると、CDの各曲が順不同で演奏される。RANDOMの文字が白く表示される。

ランダム演奏を中止するには、以下の設定を変更します。

- > 通常の演奏モードへ戻るには、SETUPをクリックしてRANDOMを呼び出す。
- > RANDOMを1回クリックすると、RANDOMがグレーの表示に戻る。
- > EXITをクリックし、SETUPを終了する。



#### N.RADIOを聴くには…

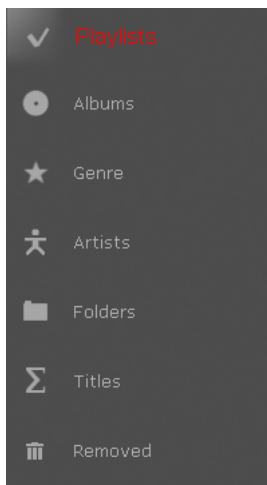
ラジオ局の受信を開始したり、新しい曲やグループへ移動するには、コントロールバーを使います。

- > N.RADIOをクリックすると、受信可能なラジオ局が演奏される。
- > ▲をクリックすると、次のラジオ局に飛ぶ。
- > ▼をクリックすると、前の局に飛ぶ。
- > ◀または▶で、前または次のグループに移動する。
- > キーボードのテンキーを使い、ラジオ局を選ぶ。

#### 写真を見るには…

コントロールバーを使い、写真を見たり別の写真に切り替えることができます。選んだ写真のズームや回転も可能ですし、スライドショーとして上映させることもできます。

- > PHOTOをクリックすると、写真が見られる。
- > いずれかの写真をダブルクリックすると、その写真が見られる。
- > ▼または▲で、前または次の写真に移る。
- > ◀または▶で、次のグループに飛ぶ。
- > プレーヤーウィンドウの◀'ROTATE'▶を使うと、写真が回転する。
- > プレーヤーウィンドウの-'ZOOM'+を使うと、ズームイン/アウトが行なえる。
- > リスト中の写真を選ぶには、キーボードのテンキーを使う。



ビューの一例。これはN.MUSICのビューです。

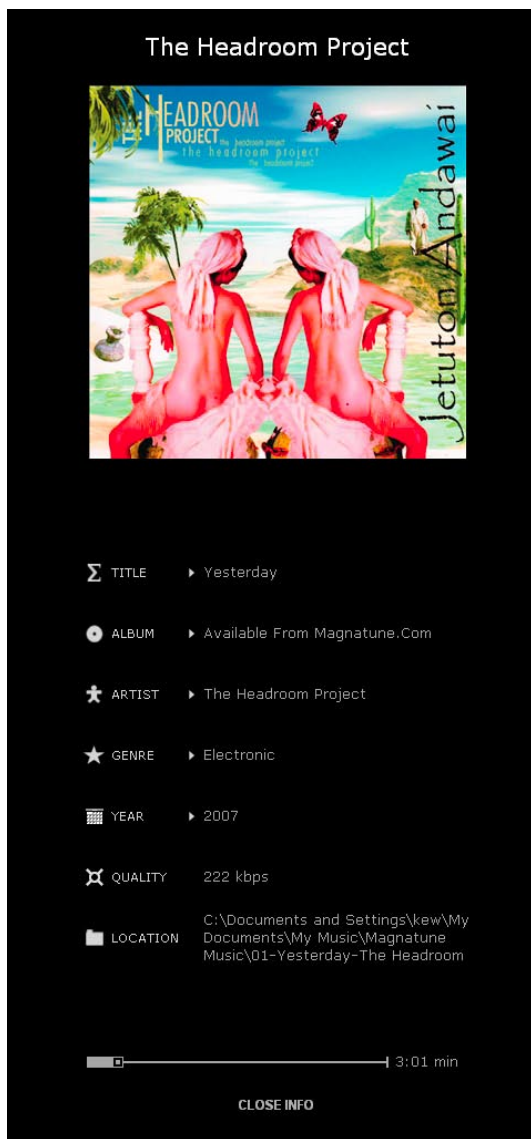
#### あるソース内でビューを切り替える

BeoPlayerのいずれかのソースをオンにすると、コレクションの内容を異なったビューで見ることができます。ビューの切り替え方法は、全ソース共通です。

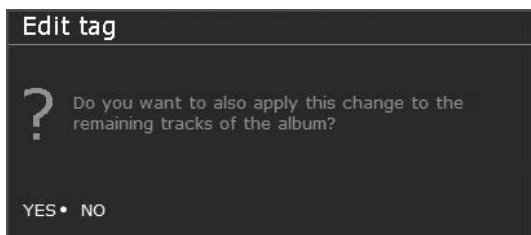
ソース名のボタンを2回クリックして、いずれかのリストを呼び出すと、そのリストのビューが画面上に残ります。

#### ビューを切り替えるには…

- > ソースをオンにする。
- > 'TAB'を押す。あるいは…
- > …左上端のビューのアイコンを、クリックして押し続け、カーソルを見たいビューまで移動して指を離す。あるいは…
- > …左端の>を、繰り返しクリックする。



グレーの演奏経過時間バーを使うと、この曲の特定の位置まで「飛ぶ」ことができます。



曲の情報を編集すると、BeoPlayerは変更の確認を求めています。

### N.MUSICやN.RADIO、PHOTOの情報を見て編集する

曲を聴いたり写真を見ている時、現在選んでいるコンテンツに関する情報を呼び出すことができます。

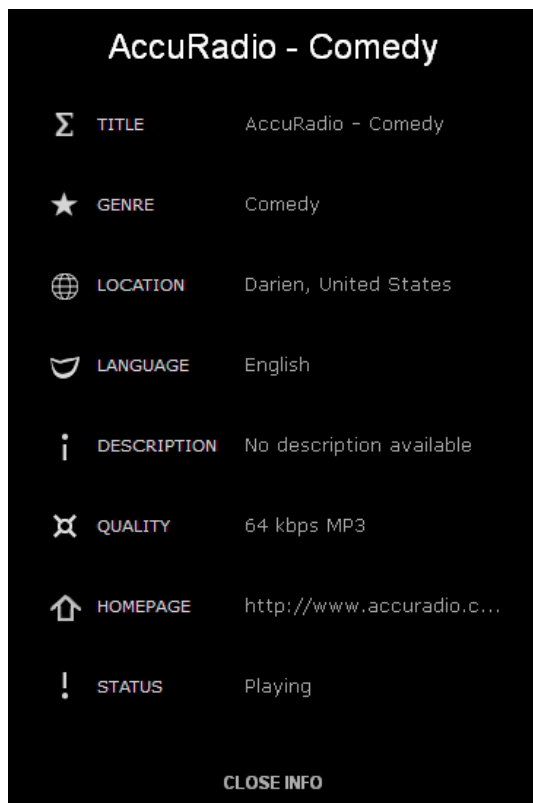
> コントロールバーのINFOをクリックして、情報を見る。

曲の情報を編集するには…

- > 編集したいカテゴリーまで、カーソルを移動させる。
- > タイトルなど、編集したい情報名を1回クリックする。
- > 新たな情報をタイプ入力する。
- > キーボードの‘ENTER’を押すと、保存して終了する。

情報を変更していいかと、確認を求められます。

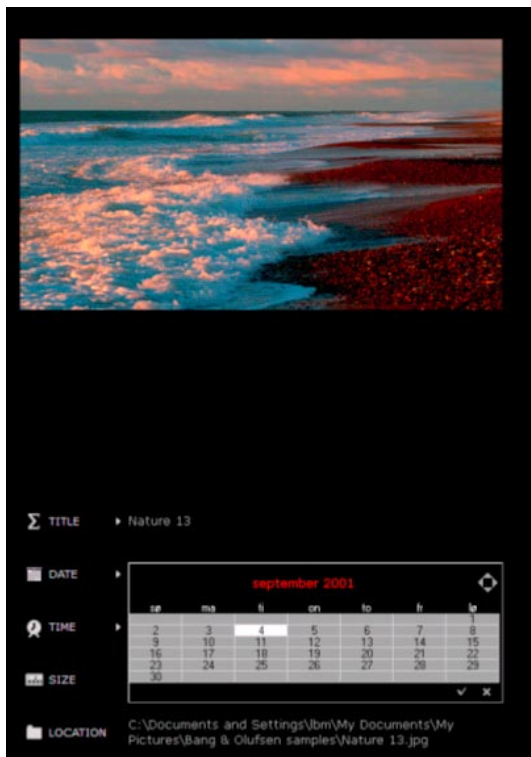




N.RADIOの情報を見るには…

- > コントロールバーのINFOをクリックする。  
受信中のラジオ局に関する情報が、画面に表示される。  
コントロールバーのINFOが、白に変わる。
- > メニュー中のCLOSE INFOをクリックする、あるいは…
- > …コントロールバーのINFOをクリックすると、このINFOメニューが終了する。

あるN.RADIO局の情報ビュー



写真に関する編集タグ情報。

#### 写真の情報を見るには…

- > コントロールバーのINFOをクリックする。  
表示されている写真に関する情報が、画面に表示される。

#### PHOTO 情報を編集するには…

- > 編集したいカテゴリーまで、カーソルを移動させる。
- > タイトルなど、編集したい情報名を1回クリックする。
- > 新たな情報をタイプ入力する。
- > キーボードの‘ENTER’または‘TAB’を押すと、保存して終了する。
- > 情報ウィンドウの底部にあるCLOSE INFOをクリックする、あるいは…
- > …コントロールバーのINFOをクリックすると、このINFOメニューが終了する。

#### 曲やラジオ局、写真をサーチする

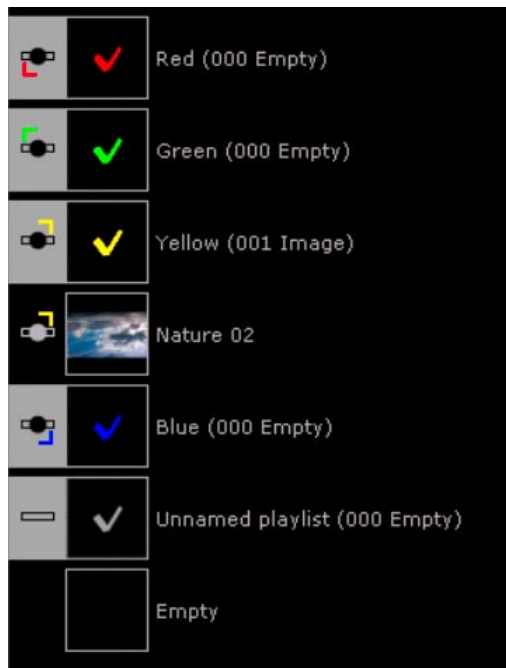
BeoPlayerは、特定の曲やラジオ局、写真などを、コンテンツ全体から探し出すことができます。

#### サーチの方法は…

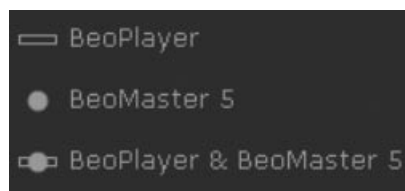
目的のソースをオンにし、サーチを実行したいビューを表示させます。

- > 探す対象の名称を、正確にタイプ入力する。その名称を含むコンテンツが強調表示される。あるいは…
- > …探す対象の最初の1文字、または数字を入力する。たとえば、‘Language’でドイツ語を探すなら‘g’を、‘Genre’でロックを探すなら‘r’を入力する。

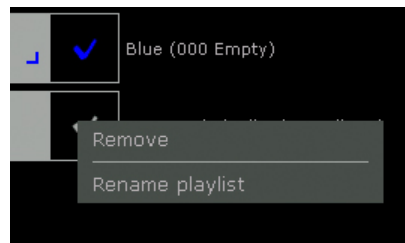
## プレイリストを作成し、編集する



BeoPlayerのプレイリストビュー。



どこでそのプレイリストを使うか選ぶ。



プレイリストに好きな名称をつける。

お気に入りの曲やラジオ局、写真やビデオクリップを、プレイリストにまとめることができます。プレイリストは、いつでも編集できます。また、曲や写真、ビデオクリップをBeoPlayerからドラッグし、コンピュータ上の他のアプリケーションにドロップすることも可能です。

作成したプレイリストによって、コンピュータの記憶容量が減ることはありません。プレイリストは、再生する順番を指示するだけであり、ファイルのコピーをまったく伴わないからです。

BeoPlayerでプレイリストを作成するには…

- > COPYをクリックする。
- > NEW PLAYLISTをクリックする。(あるいはNEW PLAYLISTを右クリックして保持する。)
- > 作成するリストのタイプを選ぶ:  
BeoPlayer (そのコンピュータでしか使えないプレイリスト)。  
BeoMaster 5 (BeoMaster 5で使用できるプレイリスト)。  
BeoPlayer & BeoMaster 5 (BeoMaster 5とBeoPlayerで使用できるプレイリスト)。

プレイリストに、複数のファイルを追加するには…

- > 追加する最初の曲やラジオ局、写真、ビデオクリップをクリックし、キーボードの'SHIFT'キーを押したまま、最後の1つをクリックする。
- > 'SHIFT'キーの代わりに'CTRL'キーを使うと、曲やラジオ局、写真、ビデオクリップを、1つずつクリックして追加できる。
- > 選び終わったら、全体を新しいプレイリストまで'ドラッグ&ドロップ'する。
- > DONEをクリックして保存する。

BeoPlayerに追加されたコンテンツは、BeoMaster 5にコピーされています。同様に、テレビ画面上でコンテンツを追加した場合も、その結果はBeoPlayerの該当するプレイリストに反映されます。

プレイリストまたはカラーリストの名称を変えるには…

- > 名称変更するリストを右クリックし、'Rename playlist'を選ぶ。
- > 新しい名称をタイプ入力する。
- > 'ENTER'を押して保存する。



BeoPlayer/BeoPortのゴミ箱は、上のイラストの右下隅にあります。

プレイリストからコンテンツを消去するには…

- > プレイリストのコンテンツをクリックし、ゴミ箱までドラッグする。あるいは…
- > …そのコンテンツを右クリックし、'Remove'を選ぶ。

プレイリストから消去された曲や局、写真やビデオクリップが、コンピュータからも削除されることはありません。

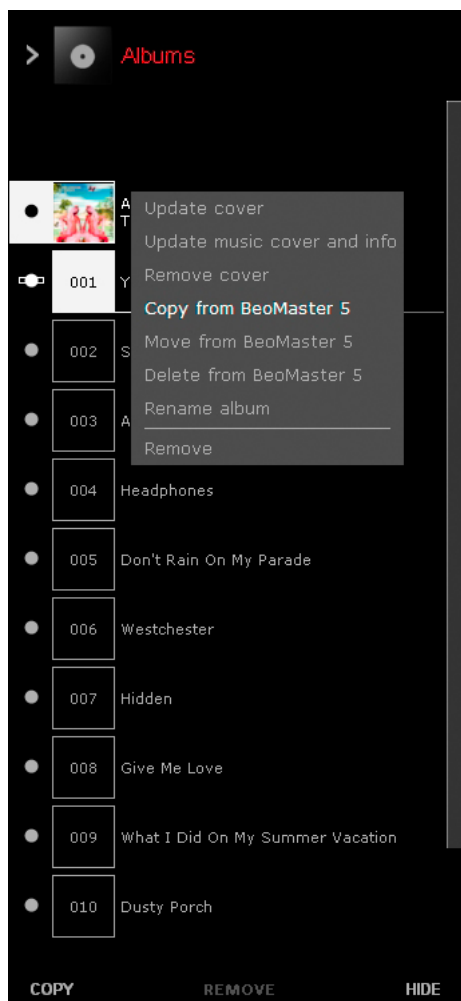
ゴミ箱から復歸させるには…

- 消去した曲や局、写真やビデオクリップは、いつでも復歸させられます(プレイリストビューから削除した場合は復歸しません)。
- > ビューを切り替える。
  - > 'Removed'をクリックする。
  - > …復歸させたいコンテンツを右クリックし、'Restore'を選ぶ。

注意：プレイリストを削除しても、ミュージックコレクションのコンテンツ本体は削除されません。

いったん消去したプレイリストを、復歸させることはできません。復歸できる写真やビデオ、曲は、プレイリストビュー以外のビューで消去されたものに限りません。

## コンテンツを整理する



\*お使いのシステムに BeoMaster 5 を組み込んでいる場合は、メニューのオプションも、'Move to BeoSound 5' のように対応します。

お使いのシステムに BeoMaster 5 を組み込んでいる場合は、ミュージック、写真、ビデオを、コンピュータと BeoMaster 5 のあいだで簡単に整理できます。両方の保存場所に、バックアップコピーを取っておくようお勧めします。

オーディオ CD のコピーが終わった時、各曲を BeoMaster 5 で使用可能とするには、あらかじめ 'Copy to BeoMaster 5' を設定しておく必要があります。

もしも、CD をコンピュータ上に保存しておくよう BeoPlayer が設定されていた場合、その CD コンテンツを BeoMaster 5 にも転送しなければ、テレビ画面から呼び出すことはできません。BeoPlayer にインポートされた写真やビデオクリップも同様です。[詳しくは「BeoPlayer を設定する」をご覧ください。](#)

### コンテンツの保存場所

各コンテンツの頭には、保存場所を示すアイコンがついています。これらのアイコンは、BeoMaster 5 をコンピュータと接続している場合にだけ表示されます。



コンピュータ側に保存されている。



BeoMaster 5 側に保存されている。



コンピュータと BeoMaster 5 の両方に保存されている。

コンテンツの保存位置を変えるには…

- > そのコンテンツを右クリックする。
- > 実行したいオプションを選ぶ。
  - 'Copy from BeoMaster'
  - 'Move from BeoMaster'
  - 'Delete from BeoMaster'

BeoMaster 側だけに保存されたコンテンツは、BeoMaster 5 から削除するとバックアップコピーが一切残らないので、ご注意ください。

ミュージックファイルと写真は、コンピュータまたは外付けハードディスク等の保存メディアに、必ずバックアップコピーを取っておくようお勧めします。

## ファイルの同期

コンピュータ上から、またはコンピュータに BeoMaster 5 が接続されていない場合はテレビから、作成したプレイリストに変更を加えた場合、処理のされ方には微妙な違いがあります。

どちらかの保存場所のみで加えられた変更は、BeoPlayer/BeoPort が BeoMaster 5 に再接続された時、自動的にもう一方の保存場所にもコピーされます。

両方の保存場所で作成を加えた場合は、コンピュータ側に保存されているバージョンが、BeoMaster 5 側に保存されているものを上書きします。たとえば、コンピュータに積んだソフトウェアを使い、ある写真を回転させたと仮定しましょう。そのコンピュータに BeoMaster 5 を接続すると、同時に、BeoMaster 5 側でも同じ写真が回転します。

コンピュータと BeoMaster 5 間でのファイルの同期は、いつでも実行できます。

- > Bang & Olufsen アイコンを右クリックする。
- > 'Start BeoPlayer <-> BeoMaster 5' を選ぶ。

## もし接続に失敗したら

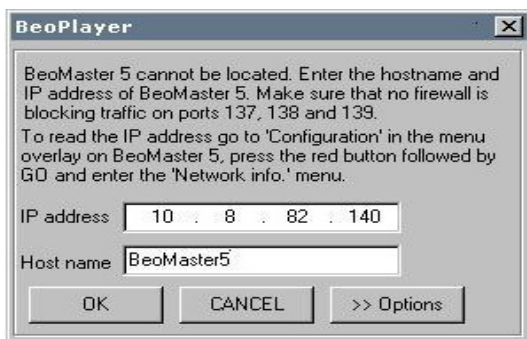
もしネットワークのリセットを行なったりした場合は、BeoMaster 5 または BeoSound 5 にファイルを転送しようとしても、接続に失敗することがあります。ダイアログボックスが表われるので、BeoMaster 5 または BeoSound 5 の IP アドレスを入力してください。

### BeoMaster 5 の IP アドレス

BeoMaster 5 の IP アドレスを確認するには、BeoMaster 5 のスイッチを入れ、メニュー一覧の中から Configuration メニューを選んだあと、リモコン上で赤ボタンと GO を続けて押します。その後、矢印ボタンを使って 'Network info' を選び、GO を押してください。BeoMaster 5 の IP アドレスが表示されます。この IP アドレスを先ほどの BeoPlayer メニューに入力すると、接続が確立されます。

### BeoSound 5 の IP アドレス

BeoSound 5 の IP アドレスを確認するには、BeoSound 5 のスイッチを入れ、レバーで 'MODE' を指します。ホイールを使って SETTINGS を強調表示させたあと、右矢印ボタンを 2 回押し、すぐに GO ボタンを押すと、'SERVICE SETTINGS' が起動します。その後、レバーを NETWORK INFO に動かしてください。BeoSound 5 の IP アドレスが表示されます。この IP アドレスを先ほどの BeoPlayer メニューに入力すると、接続が確立されます。



\*お使いのシステムにBeoSound 5を組み込んでいる場合は、メニューのオプションも、'Connect to BeoSound 5'のように対応します。

### 接続状況の表示

コンピュータからBeoMaster 5にファイルが転送されているあいだ、タスクバーの中のBang & Olufsenアイコンにポインタを合わせることで、コピーの進行状況が確認できます。



接続が確立されている時のBang & Olufsenアイコンは、黒。



コンピュータとBeoMaster 5が接続されていない時は、グレー。再接続するには、このアイコンを右クリックして、'Connect to BeoMaster 5'を選ぶ\*。



転送が進行しているあいだのBang & Olufsenアイコンは、赤。

### コンピュータとBeoMaster 5間で、コピーが進行している時は

'BeoPlayer <-> BeoMaster 5' (あるいは'BeoPort <-> BeoMaster 5')が、コンピュータとBeoMaster 5の間でそのコンテンツが同期されていることを示します。

'N.MUSIC <-> BeoMaster 5'

N.MUSICの曲が、コンピュータとBeoMaster 5の間でコピーされていることを示します。

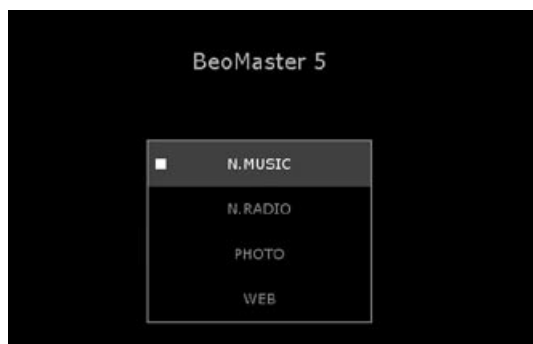
'PHOTO <-> BeoMaster 5'

PHOTOが、コンピュータとBeoMaster 5の間でコピーされていることを示します。

作業をキャンセルする場合は、Bang & Olufsenアイコンを右クリックし、'Activity'からキャンセルの選択肢を選びます。

## BeoMedia 1を使う

もしも、お使いのシステムにBeoMedia 1が含まれていたら、このガイドの説明は適用できません。



BeoPlayer/BeoPortをBeoMedia 1で使う方法については、オンラインのガイドをご覧ください。

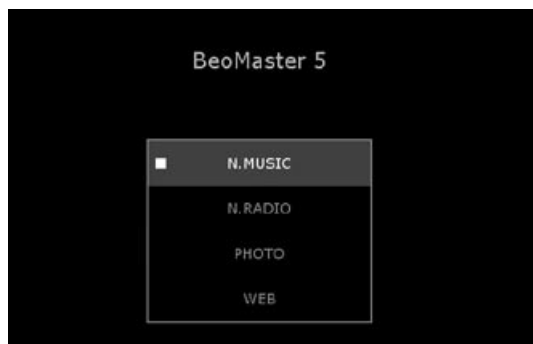
オンラインガイドは、下のリンクから開けます。このガイドは英語版のみです。

[BeoMedia 1/BeoPlayer Guideへのリンク.](http://www.bang-olufsen.com/beomedia1-userguide/index.html)

(<http://www.bang-olufsen.com/beomedia1-userguide/index.html>)



## BeoMaster 5 と BeoSound 5 を使う



BeoMaster 5 で、デジタルミュージック、個人的な写真、お気に入りのウェブサイト、5000 局を超える全世界のインターネットラジオ局にアクセスできます。

この章では、BeoMaster 5 と BeoSound 5 の設定方法を説明します。本ガイドでは、BeoMaster 5 と BeoSound 5 を含んだセットアップが、BeoMaster 5 セットアップと総称されています。BeoMaster 5 に関連したすべての映像オプションは、対応するテレビに BeoMaster 5 が接続されていることを前提とします。BeoSound 5 に関するすべての記述は、お使いのシステムに BeoSound 5 が組み込まれていることを前提とします。

### 設定を始める前に

N.MUSIC、PHOTO、WEB を使用可能とするには、BeoPlayer を使い、デジタルミュージックと写真をコンピュータから BeoMaster 5 に転送して、お気に入りのウェブサイトを、本ガイドで先述した通り保存しておく必要があります。

### BeoMaster 5 のスイッチを入れる

BeoMaster 5 のスイッチを入れる方法は、2 つあります。BeoSound 5 でいずれかの音源をオンにするか、テレビを経由して BeoMaster 5 のソースをオンにしてください。

各製品の操作方法については、BeoMaster 5 または BeoSound 5 のガイドをご覧ください。

### 4 つのソース

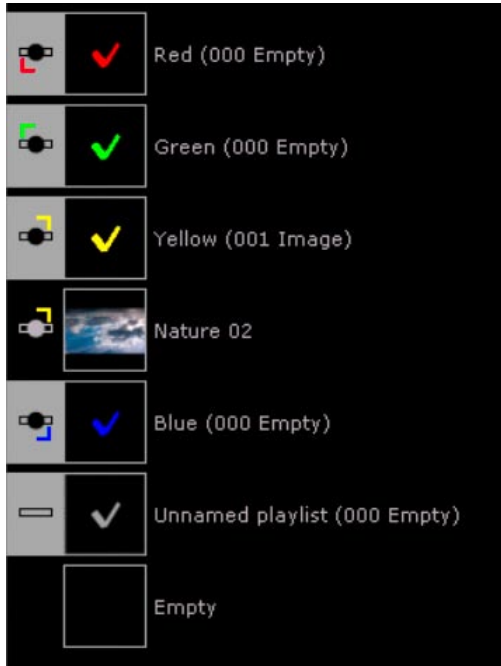
BeoMaster 5 は、N.MUSIC、N.RADIO、PHOTO、そして WEB の 4 つのソースを自在に取り扱います。

本ガイドで示されているように、各ソースの補助メニューで様々な操作が可能になりますが、個別の説明は省略します。

お使いのシステムに BeoSound 5 が組み込まれている場合、BeoSound 5 は、N.MUSIC と N.RADIO 用のブラウザとして機能するのでご注意ください。これらソースのコンテンツを、テレビ画面上で閲覧することはできません。

## カラーリスト

お使いのシステムにBeoMaster 5が組み込まれていれば、カラーリストという二次的な機能が操作可能となります。



カラーリストを含むBeoPlayerのプレイリストビュー。

これは、リモコンのカラーボタンを使って選択する、プレイリストを意味します。1つのボタンを1回押すだけで簡単に呼び出せますし、リンクルームからでも同じ操作が行なえます。

### カラーリストの基本

カラーリストには、お好きな曲、ラジオ局、写真を入れられます。カラーリストの編集は、他のプレイリストと同じ方法でコンピュータ上から実行できますが、リモコンを使った編集も可能です。詳しくは、お使いの製品に付属するガイドをご覧ください。

ソース名	カラーリスト内での上限
N.MUSIC	デフォルトでは最大9
PHOTO	上限なし
N.RADIO	デフォルトでは最大99

N.MUSICとN.RADIOの上限は、SETUPの下にある‘Configuration’メニューから変更できます。

各カラーに入っているコンテンツも、表示されます。4つのリストには、どんなコンテンツでも入れることができます。あるカラーリストから複数の曲を再生する場合、BeoMaster 5またはBeoSound 5は、そのリスト内のコンテンツだけを再生していきます。

## BeoMaster 5 に特有の機能

コンテンツの名称を変えるには…

BeoPlayer 内のアイテムの名称は、コンピュータ上で簡単に変わります。テレビ画面上のソースの補助メニューから、名称変更機能を選び、変えることも可能です。

> 補助メニューから 'Rename' を選ぶ。

▲ を押して 'spelling bar' を呼び、◀ と ▶ を押しながら文字を切り替え、GO を押して使う文字を選んでいく。

大文字と小文字を切り替えるには、▲ を押す。▼ を押すと、名前の文字入力フィールドに戻る。

名前の文字入力フィールドでは、◀ と ▶ を使い文字間が移動できる。STOP を押すと1文字削除され、GO を押すとその名前が保存される。

### Play Timer

リンクシステム内でメインとなるビジュアルまたはオーディオ製品に、Play Timer 機能がある場合、BeoMaster 5 を Play Timer の音源/映像源として選択することができます。赤いリストの中のアイテムが、Play Timer のオンと同時に演奏を開始されるので、Play Timer 機能を使って聴きたいアイテムは、この赤いリストに入れなければいけません。

## Master Link options

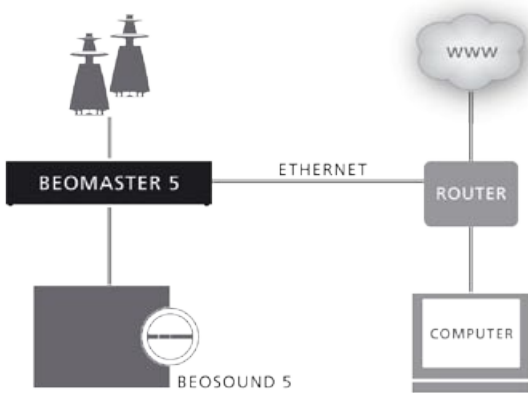
この章では、BeoMaster 5、BeoSound 5、およびコンピュータの基本的な3種類のセットアップと、使用すべきOptionを示します。

### BeoMaster 5 と BeoSound 5 を、1つの部屋のなかで使う場合…

BeoMaster 5はOption 1:

BeoMaster 5は、N.MUSIC、N.RADIOに対応し、サウンドはBeoMaster 5に接続されたスピーカーから出てくる。

PHOTOとWEBは使用できない。



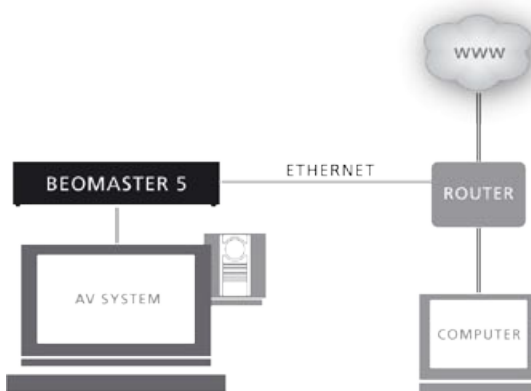
### BeoMaster 5 をテレビと組み合わせて使う場合…

BeoMaster 5はOption 0:

BeoMaster 5は、N.MUSIC、N.RADIOに対応する。PCをオンにすると、PHOTOとWEBがテレビ画面上に呼び出せる。このセットアップでのサウンドは、テレビに接続されたスピーカーから出てくる。

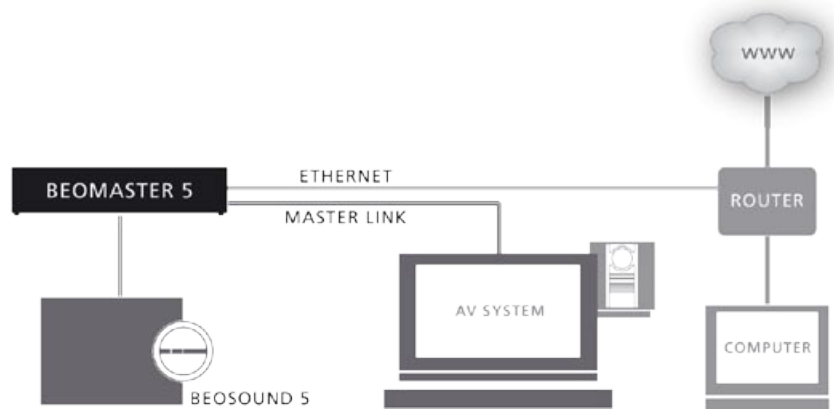
テレビはOption 2:

音源/映像源関連のすべての指示に、テレビが反応する。サウンドは、テレビに接続されたスピーカーから出てくる。



BeoMaster 5から、リンクルームのテレビに映像信号を送ることはできないので、ご注意ください

### フル統合されたシステムの場合…



このセットアップでは、BeoMaster 5 と BeoSound 5、そしてテレビが1つの部屋に置かれています。

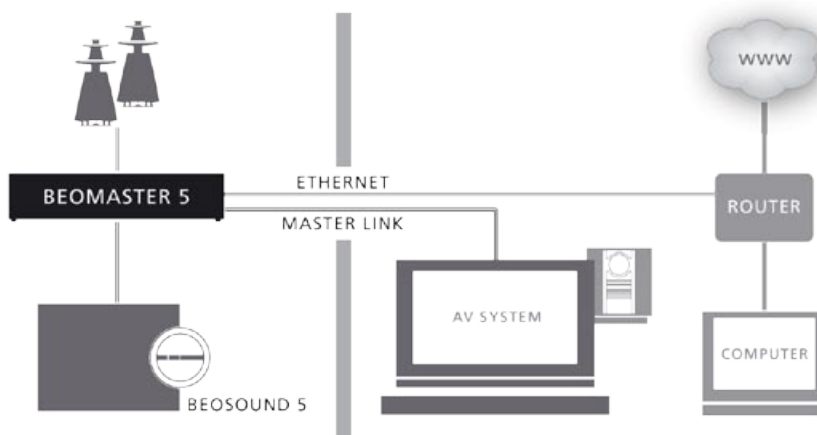
BeoMaster 5 は Option 0:

N.MUSIC と N.RADIO の閲覧は、BeoSound 5 上で行なう。

テレビは Option 2:

音源/映像源関連のすべての指示に、テレビが反応する。  
PHOTO と WEB も使用可能。

## 2つの部屋で使う場合…



重要: BeoSound 5用のリンクオプションは、Option 0、1、2だけに限られています。オーディオビジュアルシステムの接続と使用方法について、詳しくはBang & Olufsenのテレビに付属するガイドをご覧ください。

このセットアップでのBeoSound 5とBeoMaster 5は、一緒に1つの部屋(リンクルーム)に置かれており、テレビは別の部屋(メインルーム)に置かれています。

### BeoSound 5/BeoMaster 5はOption 2:

N.MUSICとN.RADIOはBeoSound 5で使用でき、メインルームからのサウンドもリンクルームで聴ける。

### テレビはOption 2:

テレビのスピーカーでN.MUSICとN.RADIOが聴ける。  
PHOTOとWEBは使用できない。

### メインルームで音源からのサウンドを聴くには…

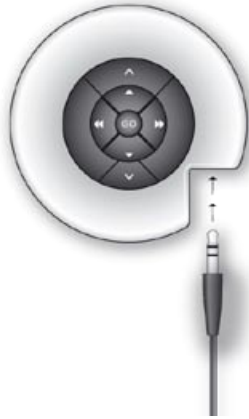
#### Beo4を使う場合…

- > LISTを繰り返し押し、'N.RADIO'または'N.MUSIC'をBeo4のディスプレイに表示させた後、GOを押す。

#### Beo5を使う場合…

- > (ソフトボタンの)'N.RADIO'または'N.MUSIC'を押す。

## ポータブル機器で BeoPlayerを使う



BeoPlayerを使い、BeoSound 2とBeoSound 6、Serenata ミュージックフォンに音楽をコピーすることができます。N.MUSIC コレクションの曲を、各機器にBeoPlayerでコピーし、音楽ファイルを整理してください。当社のポータブル機器についての詳細は、各製品に付属のガイドを参照してください。

N.MUSICのコレクション中の曲を、各機器にBeoPlayerでコピーするには、その機器をコンピュータに接続する必要があります。BeoSound 2は専用ベースにセットし、BeoSound 6およびSerenataは、製品に付属するUSBケーブルを使い接続します。

Serenataは、MTPモードにセットします。電話機に設定して使用方法については、Serenataのガイドをご覧ください。

### ポータブル機器に音楽をコピーする

- > BeoPlayerのN.MUSICをオンにする。
- > COPYをクリックして、そのポータブル機器にアクセスする。その機器のコンテンツがディスプレイに表示され、保存されているミュージックが一覧できます。機器のリストの上には、記憶容量にどれだけ余裕があるかを示すインジケータが表示されます。

プレイリストから機器へ曲をコピーするには…

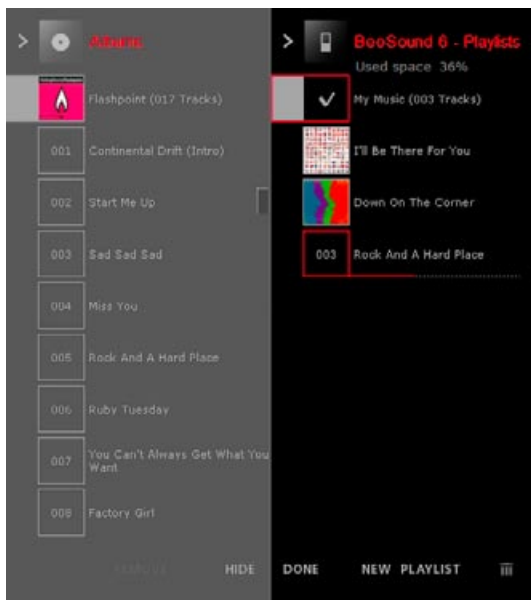
- > いずれかの曲またはアルバムをクリックし、その機器にドラッグする。

CDからのコピーは、まずBeoPlayerに対し実行してください。[詳しくは「オーディオCDから音楽をコピーする」をご覧ください。](#)曲またはアルバムが、ただちに機器の上に現われ、曲の下に表示されるバーが、コピーの進行状況を示します。

このバーがコピーの完了を知らせるまで、そのまま待つ必要がありますのでご注意ください。

コピーの進行中も、N.MUSIC内であれば、BeoPlayerの他の機能が使用できます。

コピーをキャンセルするには、機器上の曲またはアルバムを選び、ゴミ箱のアイコンまでドラッグします。BeoPlayerを完全に終了させたり、またはコピーしている機器の接続を解除しても、コピーはキャンセルされます。ポータブル機器は、カラーリストには対応していません。



注意：コピー中にN.MUSICビューを隠しても、画面右側のコントロールバー上でコピーの進行をモニターできます。コピー中であっても、コントロールバーは使用可能です。

BeoSound 6 と Serenata では、音楽のコピーと再生を同時に実行することはできないのでご注意ください。

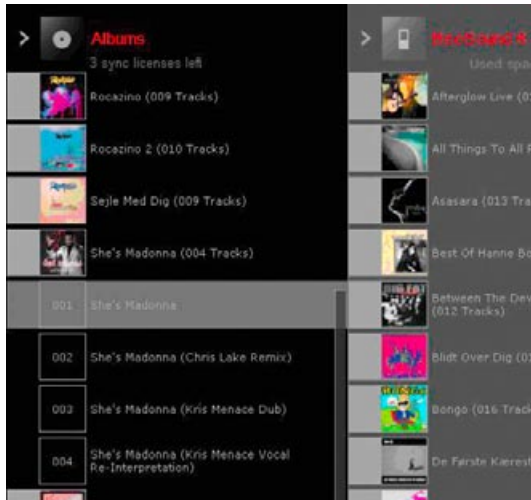
### ポータブル機器上で曲を整理する

ポータブル機器上での音楽ファイルの整理は、BeoPlayer の N.MUSIC を使った整理と同様の方法で行なえます。実行するには、ポータブル機器を PC に接続しなければいけません。

### DRM ファイルの一般的な取扱い方

BeoPlayer は、Microsoft の Windows Media DRM で保護された音楽ファイルの再生にのみ対応しています。そのため、DRM 保護された曲を BeoPlayer へコピーするには、事前に各曲を 1 回、Windows Media Player で再生しておく必要があります。Apple の Fairplay DRM には対応していません。DRM 保護された曲は、決められた回数だけ、ポータブル機器に転送することができます。この回数は、音楽ショップやレコード会社が決定しますが、無制限という場合もあり得ます。

BeoPlayer 内にコピー許可証があれば、DRM 保護されたファイルを Serenata および BeoSound 6 に転送し、再生することができます。ただし BeoSound 6 は、'回数制限' 許可証には対応していません。



BeoMaster 5 および BeoMedia 1 に音楽を転送すると、DRM 保護された音楽ファイルも同時に転送されリスト表示されますが、再生することはできません。

BeoSound 2 は、DRM ファイルに対応していないのでご注意ください。



## BeoSound 2での使い方

BeoSound 2をオンにするには…

- > BeoPlayerのN.MUSICをクリックする。

コピー中のBeoSound 2は、操作できないのでご注意ください。

BeoPlayerで再生を始めたあと、ファイルをコピーしたい時は…

- > BeoSound 2を専用ベースから取り外す。
- > BeoSound 2を再接続する。
- > あるいは、GOを3秒間押し続ける。

### Windows VistaでのBeoSound 2

Windows VistaでBeoSound 2を正しく機能させるには、コンピュータに‘Service Pack 1’をインストールする必要があります。BeoSound 2は、BeoSound 2のガイドにある通り、iTunesモード(またはMass Storageモード)にセットしなければいけません。

BeoSound 2は、外部ポータブル機器として認識されるので、BeoPlayerには、BeoSound 2の専用アイコンが表示されません。Vista環境でのBeoSound 2は、フォルダー内のファイルを移動させる等々、Windows XP環境では可能な操作を実行できません。

Windows Vista環境でのBeoSound 2には、このような制約があるため、SDカードの最上層に、再生したい曲を集めたフォルダを別に作る必要があります。

また、‘BeoSound 2\_PC.exe’と題された‘Firmware update application’は、Windows Vistaでは起動できません。従って、Windows Vista環境でのBeoSound 2のアップデートは、不可能になっています。

### BeoSound 2 用にメモリーカードを初期化する

BeoSound 2 に曲をコピーするため、保存用メディア (メモリーカード) をフォーマットしたほうが便利な場合があります。カードのフォーマットを実行すると、それまでのカードのコンテンツはすべて消去されます。

フォーマットの方法は…

BeoSound 2 を専用ベースにセットする。BeoPlayer の PC CD または N.MUSIC は、必ずオフにしておくこと。

- > コントロールバーの CONFIG をクリックし、'Configuration' メニューを呼び出す。
- > 'Portable devices' というタブを選ぶ。

BeoPlayer の 'Portable devices' タブの右側には、メモリーカードの記憶容量の残りと、そのカードの全記憶容量が表示されます。

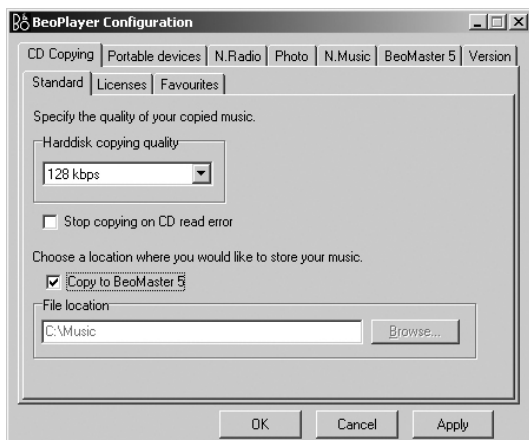
- > 'Refresh' をクリックし、使用可能な機器のリストを呼ぶ。
- > フォーマットしたい保存メディアを選ぶ。
- > 'Format' をクリックする。

'formatting portable …' という文字が表示され、フォーマットが実行されます。書き込み保護されている機器はフォーマットできないので、ご注意ください。

## BeoPlayerの基本的な設定

### N.MUSICの設定

オーディオCDをコンピュータに保存するため、コピーまたは‘リップティング’を開始する前に、コピーに関する詳細を設定しておくことができます。



#### コピーのクオリティ

コピーする音楽の音質を選びます。コピー先別に、ハードドライブ用とポータブル機器用の音質が設定できます。

- > BeoPlayerバーのSETUPをクリックする。
- > CONFIGをクリックする。
- > ‘CD Copying’というタブをクリックする。

コピーの音質は、1秒あたりのデータ量を示すビットレート(kbps)の上昇に比例して向上しますが、ファイルのサイズも大きくなっていきます。つまり高音質コピーは、ハードディスクの容量を早く減らしていきます。

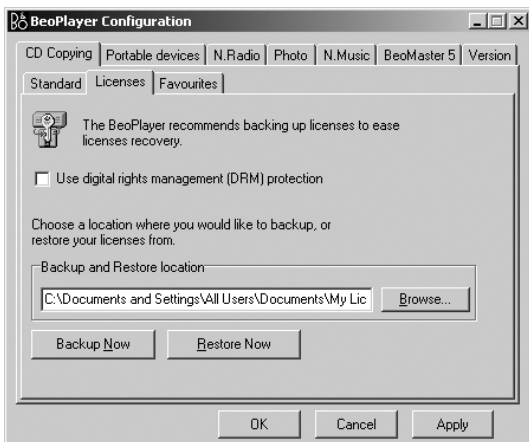
#### BeoMaster 5へのコピー

- > ‘Copy to BeoMaster 5’というボックスをチェックする。  
これですべてのN.MUSICの曲は、BeoMaster 5へコピーされていく。

#### ファイルのコピー先

(システムにBeoMaster 5が組み込まれていない場合)

- > コンピュータのどこに、コピーした曲などを保存するか選ぶ。
- > ドライブとフォルダを確認していく場合は、‘Browse’をクリックする。
- > 設定したらOKをクリックする。あるいは…
- > …‘Cancel’をクリックして‘Standard’タブに戻る。



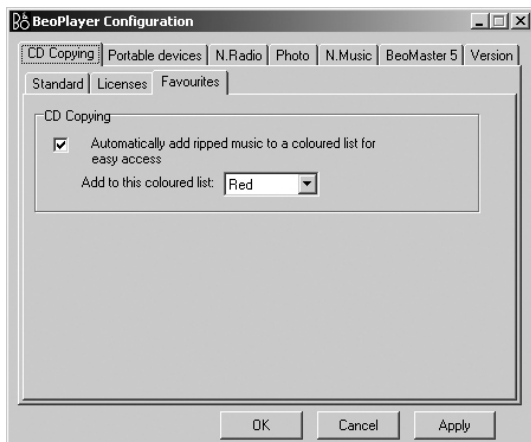
#### ライセンス

‘Licenses’タブには、CDの使用許可に関する情報が収められています。この使用許可は、バックアップしておくことをお勧めします。後日コンピュータのオペレーションシステムを更新する場合などに、この使用許可のコピーを、ディスクやネットワークドライブに保存する必要があるからです。新しいシステムのインストールが終われば、この使用許可は復元できるようになります。

#### DRM 保護

‘Use DRM protection’は、他のドライブやポータブル機器に、音楽コレクションが移動されるのを防ぎます。

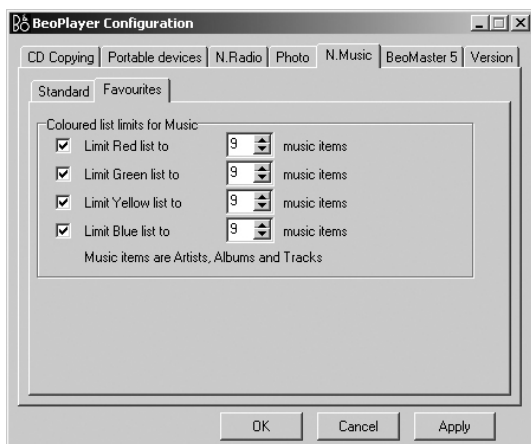
‘Use DRM protection’は、デフォルトではオフになっているのでご注意ください。BeoPlayer/BeoPortは、DRM保護がオンになったファイルを転送できません。従って、音楽ファイルを



BeoMaster 5、BeoSound 2などのポータブル機器にダウンロードしたいのであれば、このデフォルト設定は変更しないようお勧めします。またDRM保護をオンにすると、使用許可を保存しているコンピュータ以外の場所にある音楽ファイルへのアクセスが、不可能になります。

### CDからカラーリストにコピーする

CDからのコピーを行なう際、コピーしたN.MUSIC曲を特定のカラーリストに入れるよう、'Favourites'タブで指定することができます。この設定をオンにすると、そのカラーリストのコンテンツは、CDをコピーするたび変わっていきます。



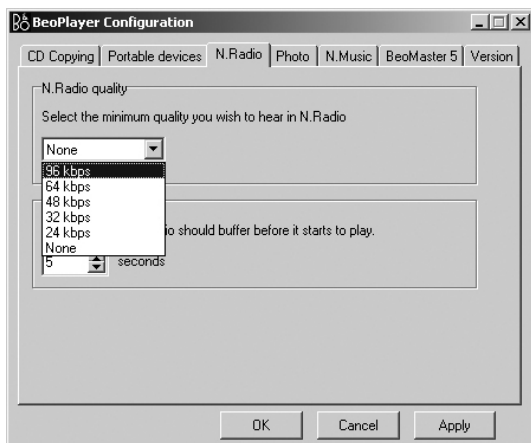
### カラーリスト内での上限

'Favourites'タブでは、各カラーリストに入る曲数/アルバム数の上限も設定できます。

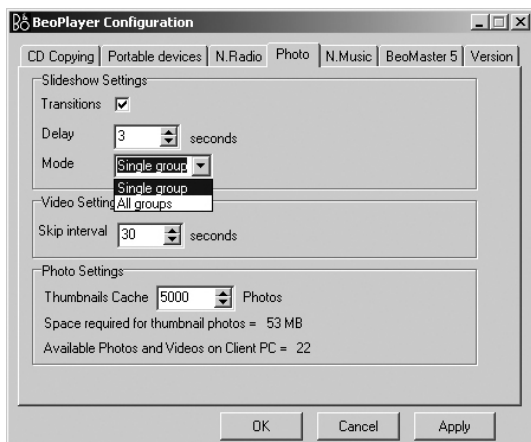
### N.Radioの設定

N.RADIOである局を受信する際のクオリティを、選ぶことができます。N.RADIOで受信クオリティを上げると、受信できるN.RADIOの局数が減じられます。

'Configuration'メニュー中のタブの名称は、接続した製品により違ってきます。ここでは、BeoMaster 5の場合が示されています。



不安定な受信状況を改善するには、バッファ時間を増大させます。ただし、これを行なうと、N.RADIOの起動時間も長くなります。



## PHOTO の設定

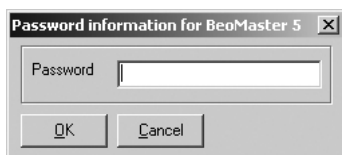
スライドショーを上映する際に、1枚の写真がスクリーンに表示されている時間の長さを選ぶことができます。

‘Mode’は、選んだ写真/ビデオクリップのグループだけに限定してスライドショーを繰り返し再生するか、グループ間をまたぎ連続再生していくかを決定します。

‘skip interval’は、スキップ機能を使った時、ビデオクリップの早送りや早戻しにかかる秒数を決定します。

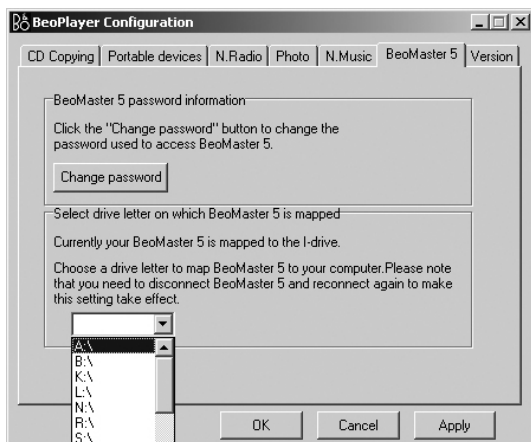
‘Thumbnails Caches’で写真の枚数を設定すると、その枚数に応じ、ハードドライブ上で写真の保存用に使われる容量も決まります。

## BeoMaster 5用の設定 - システムにBeoMaster 5を組み込んでいる場合のみ表示される



### Password

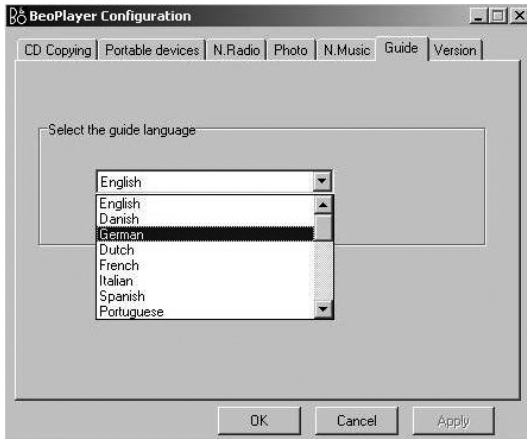
BeoMaster 5にアクセスするための、パスワードを変更します。どのドライブをBeoMaster 5とするかも、ここで決定しなければいけません。ここでパスワードを変更するのは、BeoMaster 5またはBeoSound 5側でパスワードを変えた場合に限りです。



### Drive setting

BeoMaster 5のドライブに名称をつけ、そのドライブにフォルダやプレイリストを移動またはコピーした時、すべてのファイルが転送されるようにします。この設定に関する詳細は、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。ミュージックシステム側のパスワードは、‘Change password’を押すと変更可能になります。

## ガイドの表示言語



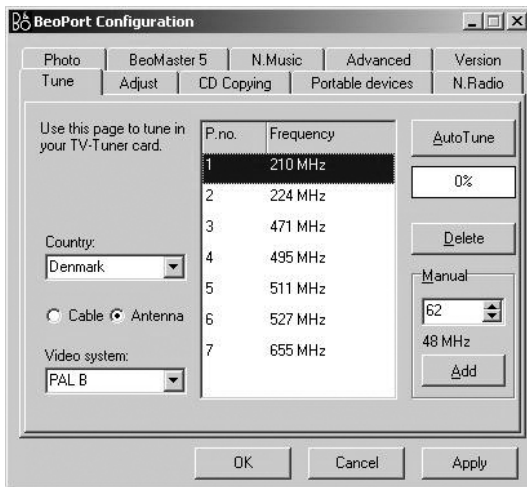
BeoPlayer/BeoPortをインストールすると、このガイドも、お使いになっているWindowsの言語設定に準じてインストールされますが、このガイドを表示する言語はいつでも変更できます。変更するには、BeoPlayer/BeoPortのConfigurationメニューに入り、'Guide'タブを開いてください。

## 基本的な設定

テレビのチューニングに関するすべての記述は、BeoPort がシステムの一部に組み込まれており、対応するTVチューナーカードを使用している場合のみを前提としています。

お手持ちのTVチューナーカード用に、テレビチャンネルの自動チューニングを始める際は、まず、正しい放送システムが‘Video System’に表示されていること、ケーブル接続かアンテナ接続かを指定してあること、そして、正しい国名が表示されていることを確認してください。

> ‘AutoTune’をクリックすると、テレビチャンネルの自動チューニングが始まる。



チューニング中は、受信したチャンネルがディスプレイに表示されていきます。自動チューニングはいつでも中止できますし、それまでに受信されたチャンネルは保存されます。

TVチューナーカード上の受信したチャンネルは、番号と周波数で記録されています。テレビチャンネルの標準的な番号設定に対応していないTVチューナーカードもあるので、ご注意ください。

### 手動によるチューニング

自動チューニングでは受信できなかったチャンネルなどを、手動で受信する場合は、‘Tune’メニューの‘Manual’を選びます。

> 周波数域をスクロールし、追加したい周波数を見つける。

> ‘Add’をクリックする。

受信したチャンネルを移動または削除するには…

受信して保存したチャンネルは、チャンネルリストに表示される順序を変えることができます。たとえば、受信した時テレビに表示されるチャンネル番号順などに、合わせることができます。

チャンネルリストから、チャンネルを削除することもできます。どちらも‘Configuration’メニューから実行してください。

#### テレビチャンネルを移動させるには…

- > 'Tune'タブをクリックすると、受信したチャンネルの順序が変更可能になる。
- > 移動させたいチャンネルをクリックし、チャンネルリスト内の好きな位置に動かす。

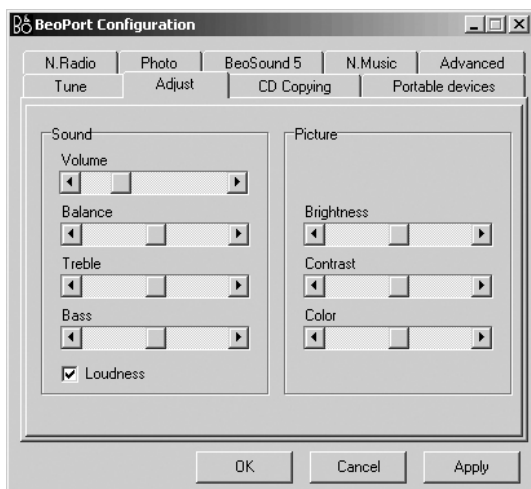
移動させたいチャンネルが、TVビューウィンドウに正しく表示されるかを確認します。

- > マウスを使い、そのチャンネルを、リスト内の新しいチャンネル番号までドラッグする。

目指すチャンネル番号に、すでに他のチャンネルが入っていたら、移動したチャンネルは使われている番号の間に挿入されます。

#### 受信したチャンネルを削除するには…

- > 'Tune'タブをクリックすると、受信したチャンネルの削除が可能になる。
- > チャンネルリストの中から、削除したいチャンネルを選んでクリックする。
- > TVビューウィンドウに、削除したいチャンネルが正しく表示されているか確認する。
- > 'Delete'をクリックする。



#### サウンドと映像を調節するには…

テレビチャンネルを受信して保存したら、サウンドのプリセットを調節できます。このサウンド調節は、コントロールバーから呼び出せる全ソースに適用されます。

お使いのテレビチューナーで映像の調節も可能であれば、TVチューナーカード用に映像のプリセットが調節できます。この映像調節は、コントロールバーを経由してコンピュータ画面に呼び出せるメインルームからの映像源にも、適用されていきます。



コンピュータ上でサウンドを調節する必要があったら…

コンピュータ内の音源/映像源と、接続した音源/映像源のサウンドレベルを一致させるには、対象とする音源/映像源をコントロールバー経由でオンにし、コンピュータ上にサウンドカードミキサー機能呼び出します。その後、両者のサウンドレベルを比較・調整してください。

コンピュータ上でサウンド調節するには…

- > コントロールバーの TV をクリックし、テレビチャンネルを呼び出す。
- > SETUP をクリックし、AV サウンドを選べるようにする。
- > AV をクリックし、AV のステレオサウンドを選ぶ。AV が強調表示され、Master Link のサウンドが聴こえてくる。
- > 再度 AV をクリックし、聴こえてくるサウンドの音量を前のものと比べる。サウンドモードになっている時は、AV ボタンは強調表示されない。
- > サウンドカードミキサー機能呼び出す。
- > AV のサウンドとコンピュータのサウンドを切り替えるには、AV ボタンを使う。
- > サウンドミキサー機能を使い、サウンドレベルを調節する。

調節の対象となりうる項目は:

VOLUME CONTROL

サウンドカードからの全般的なサウンド出力レベルを調節する。

WAVE

N.MUSIC での入力レベルを調節する。

AUX/LINE/TV

TV カードからのサウンドレベルを調節する。

CD AUDIO

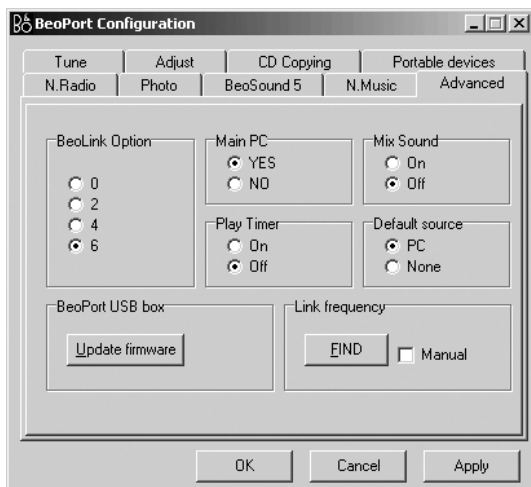
内蔵 CD-rom ドライブのサウンドレベルを調節する。

調節できる項目は、内蔵されているサウンドカードによって異なる場合があります。

## やや専門的な設定 – BeoPortが、システムに組み込まれている場合にのみ適用される

### オプションプログラミング

ご使用のコンピュータが、BeoPortまたはBeoMaster 5と共にBeoLinkセットアップに組み込まれている場合は、正しいオプションプログラムを行なわねばなりません。詳しくは、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。



### Main computer

BeoLink システムの中には、複数の BeoPort セットアップを組み込むことが可能ですが、N.MUSIC および N.RADIO は、メインのコンピュータからしか供給できません。どのコンピュータをメインにして、N.MUSIC 等を供給させるかは、'Main PC' の項で指定する必要があります。この項で、メインまたはサブが決定できます。

- > メインコンピュータとするなら、'Yes' ボタンをチェックする。あるいは…
- > …'No' をチェックすると、サブのコンピュータとなる。

### Play Timer

コンピュータが BeoLink に組み込まれているのであれば、音源または映像源の 'Timer' 演奏がコントロールできます。この機能は、オーディオシステムを使った目覚まし 'Timer' や、コンピュータ画面上で決まった時間にニュースを見る場合などに便利です。また、毎晩決まった時間に決まったソースを 'Standby' にするよう、プログラムすることもできます。

- すべての 'Timer' プログラムは、接続されているソース(オーディオシステムまたはテレビなど)側で、実行する必要があります。
- > 'ON' をクリックし、Play Timer をオンにする。あるいは…
  - > …'OFF' をクリックし、Play Timer をオフにする。

### Mix sound

Master Link されたシステムからのサウンドを、コンピュータからのサウンドとミックスすることができます。CD を聴きながら、コンピュータゲームのサウンドも聴きたい場合などは、Mix Sound を 'ON' にすれば両方のサウンドがスピーカーから流れます。

#### Default sourceとは…

BeoPlayerを立ち上げたとき、コンピュータがデフォルトとして自動的に選ばれる状態を意味します。コンピュータから音を出したくない場合などは、この設定を変更できます。

- > 'PC'をチェックすると、コンピュータがデフォルトとして選ばれる。あるいは…
- > …'None'をチェックすると、BeoPlayerだけが立ち上がる。

#### BeoPort USB boxとは…

ソフトウェアをアップデートするたび、BeoPort box用のソフトウェアが送られてきます。このアップデートファームウェアキーは、インターネットまたはCD-romからBeoPort boxにインストールしたソフトが、最新バージョンか否かを確認します。

- > 'Update firmware'をクリックする。
- > 画面に表示される手順に従う。

#### Link frequencyとは…

ビジュアルシステムからサウンドと映像を受け取るためには、この信号を送るチャンネル番号を設定する必要があります。一部のBang & Olufsenシステムは、このリンク周波数を自動的に設定します。

Bang & Olufsenシステム側が、自動対応していてもなお、リンク周波数を手動で調整することができます。

- > 'Manual'をチェックしたのち、'Find'をクリックする。

リンク周波数が自動的に設定されると、画面に表示される手順の中でその旨が示されます。この場合、その周波数は保存されています。

注意：アメリカ向けのBeoPlayer/BeoPortは、メインルームからコンピュータへの映像ソースの送信に対応していません。

もしリンク周波数が自動で設定されなかったら…

コンピュータ画面上の指示に従い、リンク周波数を手動で設定します。

手動で設定するには…

- > コントロールバーのSETUPの下にあるCONFIGをクリックする。
- > 'Advanced'タブを選ぶ。
- > 'Link frequency'の項にある'Manual'にチェックを入れる。
- > 'Find'をクリックする。
- > 画面に表示される手順に従う。

'OK'を押してサーチを実行すると、ビデオシステムの設定を変更できるようになります。

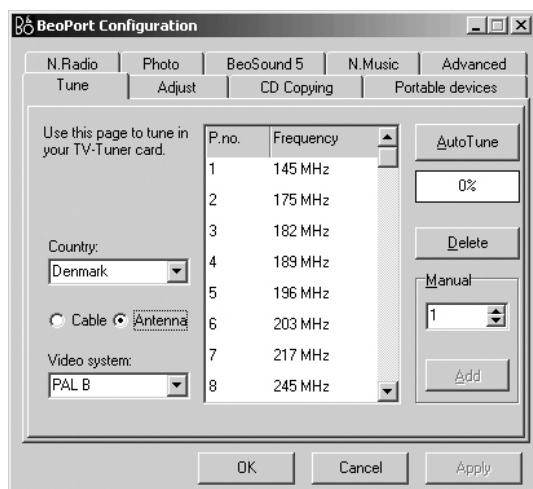
ビデオシステムを設定するには…

コンピュータ画面上でテレビを見るためには、正しい国名とビデオシステムが設定されていなければいけません。フランスなど一部の国は、ビデオシステムとしてSECOMを使っています。

このような国でリンクルーム製品を使用するには、ビデオシステムの調整が必要となります。PALの端末機器やビデオテープなどを見たいのであれば、“Configuration”メニューの“Video system”設定を、PALに変えなければいけません。

ご使用のTVチューナーカードと、PALおよびSECAMの取扱いについて、詳しくは販売店にお問い合わせください。

- > 'SECAM'の代わりに'PAL'を選び、ビデオシステムを変更する。



'Video system'は、'Tune'タブの下にあります。

## BeoPlayer および BeoPort のシステム条件

### ハードウェア

プロセッサ: 1GHz 以上

システムメモリー: 512MB RAM 以上

グラフィックカード: Super VGA (800x600) に対応した 32MB ビデオ RAM 以上

ハードドライブ: 使用可能な空き容量 100Mb 以上

USB 端子: BeoPort 用に 1 個

### オペレーティングシステム:

Windows Vista または Windows XP

DirectX 8.1 以降

Media Player 9.0 以降

## 対応しているメディアフォーマット

デフォルトで対応している写真フォーマット: jpg, jpeg, tif, tiff, gif, bmp, png。

デフォルトで対応しているビデオクリップフォーマット: avi, asf, wmv, mpg, mpeg。ただし、使用するコンピュータに搭載されたコーデックに依存する。

対応している N.MUSIC フォーマット: Mp3, WMA, WAV (BeoMaster 5 では、M4A, AAC, MP4 が加わる)。

## ソフトウェアアップデート – BeoMaster 5

BeoMaster 5 のソフトウェアは、定期的にアップデートされます。BeoMaster 5 用の最新ソフトも、お客様に提供されます。新しいソフトウェアをインストールするか、と尋ねるウィンドウが表示されたら、'Later' (後日) と答えることもできます。

'Later' を選ぶと、Bang & Olufsen アイコンを右クリックすることで、'Update software' が表示されるようになります。ここからアップデートを選ぶと、すぐに作業が開始されます。

## BeoPlayerまたは BeoPortの登録

BeoPlayerまたはBeoPortの初めての設定を完了し、インターネットに接続されていたなら、登録を行なうよう促されます。登録すると、BeoPortalが提供するサービスを受けられるようになります。もちろん、Bang & Olufsenは、ご提供いただいた個人データの情報を、BeoPortal以外の目的で使用いたしません。

登録を行なわないと、すべての曲が‘unknown’として保存されていきます。それでもなお、転送したCDの曲情報を表示させたい場合は、手でタイプ入力する必要があります。この入力、N.MUSICを選んだ時コントロールバーに現われる‘INFO’から行ないます。

### 登録しなかった場合は…

登録フォームが自動的に画面上に現われます。

> ‘New User’をクリックし、フォームに記入する。

### すでに登録している場合は…

> ユーザー名とEメールアドレスを入力する。

BeoPortalから情報を入手するには、コンピュータをインターネットに接続しておく必要があります。もしインターネットに接続していなかったら、登録を促されることはありませんが、接続すると同時に登録を求められます。

### もしユーザー名を忘れてしまったら…

画面に表示される手順に従ってください。ご自分のEメールアドレスを送るよう促され、その後、ユーザー名がEメールで届けられます。

## もし、BeoPlayer/BeoPort を削除する必要があるなら

このような場合は、BeoPlayer/BeoPortの全ディレクトリの削除が選択できます。あるいは、BeoPlayer/BeoPortに直接関連したファイルだけの削除を、選択することもできます。

BeoPortアプリケーションを再インストールすると、既存のBeoPortは自動的に上書きされます。

### 削除するには…

- > コンピュータのコントロールバーから、'Add or Remove Programs' 機能呼び出す。
- > アプリケーションのリストから、BeoPlayer/BeoPortをクリックして選ぶ。
- > 'Change/Remove' をクリックする。
- > 'Remove' をクリックして削除する。
- > 続行するには'Next' をクリックする。
- > コンピュータ画面に表示される手順に従う。
- > 'Finish/Exit' をクリックして、BeoPlayer/BeoPortの削除を完了する。
- > 再インストールするには、BeoPort CD-romのSETUP.EXEファイルを起動しなければいけない。

BeoPlayerソフトウェアは、[www.beoplayer.com](http://www.beoplayer.com) からアップデートできます。

**About**  
**BeoPlayer**  
**BeoPort**  
**Bang & Olufsen**

Terms of use Use of Bang & Olufsen BeoPlayer/BeoPort requires the accept of this End User Licence Agreement, which terms you are considered to accept if you continue downloading this software. The BeoPlayer/BeoPort and this Agreement does not in any way provide you with any license or permission to use the Name, Logo or any Trademark used or registered by Bang & Olufsen. Reverse engineering, decompilation, disassembling of the Freeware or any of its content is prohibited. Renting, lending, networking, reselling, or redistribution of the software is also prohibited. Bang & Olufsen will not be liable for any loss, including but not limited to, direct damage and/or loss, loss of profits, consequential loss, personal injury and/or injury to your personal property, due to download, use, inability to use and/or defect in the software. Bang & Olufsen will under no circumstances be liable for the content that may be stored using the software. Bang & Olufsen strongly advise you not to download illegal music. Bang & Olufsen is very concerned about your privacy and will protect the privacy of information you provide with the end user registration.



**Microsoft Inc.**

Microsoft Windows Media Technologies  
Portions based upon Microsoft Windows Media Technologies.  
Copyright © 1999-2002 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft, Windows Media and the Windows Logo are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Microsoft Windows Media Rights Manager Restore and Security Upgrade Privacy Statement

Microsoft is very concerned about your privacy and will protect the privacy of information you provide through the Windows Media Rights Manager Restore and Security Upgrade (Individualization) services.

Restore Service:

In order to allow for a restore service, Microsoft and our partners (Record labels, Players, Video labels, and many others) worked to develop a restore schema. The goal of this service is to grant users permission to restore and move digital media licenses between personal machines for legitimate use. This service allows for a limited number of license transactions. When you restore your licenses you are sending some information to Microsoft that uniquely identifies your machine for internal tracking purposes. We store this unique machine



identifier in a database and keep track of the number of times you attempt restore. Note that we do not share this unique machine identifier with any other services either internal or external to Microsoft. You also are sending some security information that enables us to restore your licenses to the new computer (or same computer that has either re-installed the OS or changed some hardware component). None of the security information is stored permanently. In the event that you exceed the limits of our restore schema you will be asked to provide some personally identifiable information. This information is necessary to prevent fraudulent restores and piracy of protected content. In addition, the data may be used internally to perform aggregate analysis of the restore service, such as helping to ensure that we have adequate capacity and security to meet the demand for the service. The personally identifiable information that you provide will not be used for any other purpose. It will be securely stored in a dedicated database located in the United States of America, and will be kept separate from information you may have provided to Microsoft in other contexts. This information will not be shared with any other services either internal or external to Microsoft. Both the unique machine identifier and any personally identifiable information will be transported and stored in a secure environment that protects against unauthorised access, data corruption or loss, and unwanted use or distribution. If you would like to access the personally identifiable information you have provided to Microsoft through the restore service, you can send your request by e-mail to [drmpii@microsoft.com](mailto:drmpii@microsoft.com).

***Security Upgrade (Individualization):***

In order to use content with a higher security rating, some vendors require that you upgrade your security components in the Windows Media Rights Manager. Microsoft provides this service and no unique information is shared with the content providers or any third parties. When you upgrade your security level, you are sending some information to Microsoft that uniquely identifies your machine for internal tracking purposes. We store this unique machine identifier in a database and keep track of the number of times you attempt to upgrade your security. We may also use this data internally to perform aggregate analysis of the security upgrade service, such as helping to ensure that we have adequate capacity and security to meet the demand for the service. Note that we do not share this unique machine identifier with any other services either internal or external to Microsoft. You also are sending some

security information that enables us to deliver the appropriate security upgrade to your machine. None of the security information is stored permanently. We also keep track of which security upgrade files were downloaded to your machine. This information is not used to identify your machine, but to help Microsoft prevent security breaches that could affect legitimate users. The unique machine identifier and the security upgrade file information will be transported and stored in a secure environment that protects against unauthorized access, data corruption or loss, and unwanted use or distribution.

***Contacting Microsoft:***

If you believe that Microsoft has not adhered to these privacy principles, please notify us by e-mail at [drmpriv@microsoft.com](mailto:drmpriv@microsoft.com) or by postal mail at the following address: Microsoft Corporation, Attn: Windows Media Rights Manager Service, One Microsoft Way, Redmond, Washington 98052-6399, USA. We will use commercially reasonable efforts to promptly determine and correct the problem.

**Metadata Content and Media Recognition Software  
Provided by All Media Guide, LLC**

© 2007 All Media Guide, LLC

AMG Flow-Down License Terms (Terms of Use)

This application incorporates software and technology of All Media Guide, LLC. ("AMG"). The AMG software and technology (the "AMG Technology") allows End Users to access music-related data ("AMG Data") over the Internet and otherwise from proprietary AMG databases (the "AMG Databases") located on AMG servers (the "AMG Servers") and to perform other functions (collectively with the AMG Technology, AMG Data, AMG Databases and AMG Servers, the "AMG Services"). AMG grants you a limited, non-exclusive, non-transferable, and non-sublicensable right and license to access and use AMG Services only by means of the intended End User functions of this application software. You agree that you will use the AMG Services for your own personal non-commercial use only. You agree not to: (i) assign, copy, transfer or transmit the AMG Data to any third party; (ii) use or exploit the AMG Services, except as expressly permitted herein; (iii) decompile, disassemble or reverse engineer the AMG Services or any component thereof; (iii) remove any copyright, trademark, trade names, logos or other intellectual property notices in the AMG Services; or (iv) sell, distribute, publish, disclose, lease, license transfer or otherwise use the



AMG Services, or any portion thereof, other than as expressly provided in these Terms of Use. You agree that the license to use the AMG Services granted herein will terminate if you violate these restrictions. In addition, AMG may revoke or terminate this license at any time at its sole discretion. If your license terminates, you agree to cease any and all use of the AMG Services. You agree to defend, indemnify and hold harmless AMG and its affiliates from all liabilities, claims and expenses, including attorneys' fees arising from your breach of these Terms of Use. AMG reserves all rights in the AMG Services, including all ownership rights. You acknowledge that as between you and AMG, all right, track and ownership to the AMG Services and components thereof remain the exclusive property of AMG, and nothing herein will be deemed to grant you any ownership rights in the AMG Services. You agree that AMG may enforce its rights under this Agreement against you directly in its own name. AMG reserves the right to delete data from the AMG Databases or to change data categories for any cause that AMG deems sufficient. No warranty is made that the AMG Technology or AMG Servers are error-free or that functioning of AMG Technology or AMG Servers will be uninterrupted. AMG is not obligated to provide you with any new, enhanced or additional data types or categories that AMG may choose to provide in the future and is free to discontinue its online services at any time, without any obligation to you. To the extent that you, the End User, provide any information or original works of authorship to be added to AMG Databases, you represent and warrant that you are the sole author of such work(s) and further hereby assign to AMG all rights of copyright therein, including the right to register the copyright in such work(s) as part of the AMG Database.

THE AMG SERVICES AND COMPONENTS THEREOF ARE PROVIDED TO YOU "AS IS." AMG MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, REGARDING THE ACCURACY OF THE AMG SERVICES INCLUDING WITHOUT LIMITATION THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, Track AND NON-INFRINGEMENT. AMG DOES NOT WARRANT, GUARANTEE OR MAKE ANY REPRESENTATIONS REGARDING THE CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, CURRENTNESS OR THE RESULTS THAT WILL BE OBTAINED BY YOUR USE OF THE AMG SERVICES. IN NO CASE WILL AMG OR ITS AFFILIATES BE LIABLE TO YOU OR ANY THIRD PARTY FOR ANY INDIRECT, CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL,

SPECIAL, PUNITIVE OR OTHER DAMAGES INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY LOST PROFITS OR LOST REVENUES OR INTERRUPTION WITH BUSINESS UNDER ANY THEORY OF LAW, INCLUDING CONTRACT, TORT, NEGLIGENCE, INDEMNITY, STRICT LIABILITY, PRODUCT LIABILITY, OR OTHERWISE ARISING OUT OF OR IN ANY WAY RELATED TO THE USE OF THE AMG SERVICES. IN NO EVENT WILL AMG'S LIABILITY FOR DAMAGES WITH RESPECT TO THE AMG SERVICES BE IN EXCESS OF TEN DOLLARS REGARDLESS OF THE FORM OF THE CLAIM. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OF LIABILITY FOR INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THE ABOVE EXCLUSION MAY NOT APPLY TO YOU.